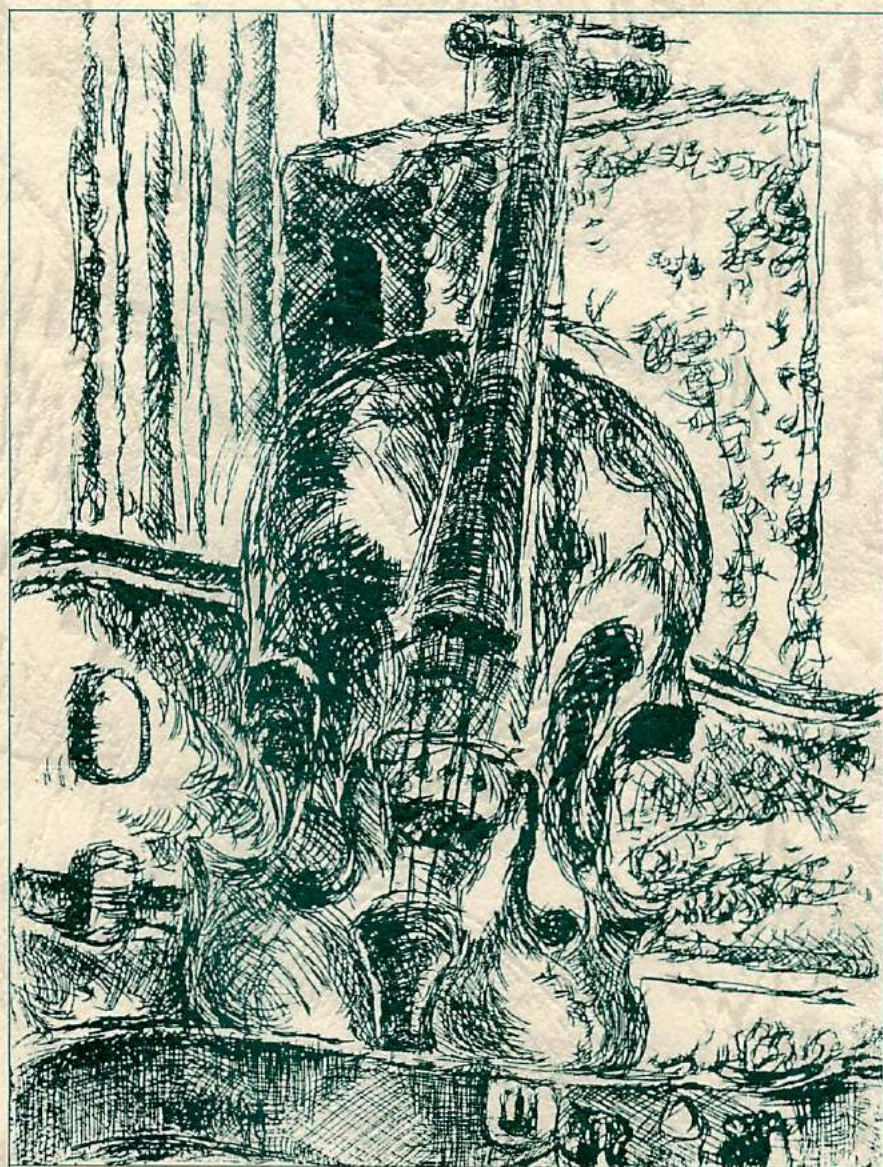


開校40周年記念誌

～この10年のあゆみ～



平成13年10月
函館市立五稜中学校

✻ 開校四十周年記念誌 ✻

五稜中学校この十年

(平成四年度～平成十三年度)



挨拶・祝辞

- ◇さらなる飛躍を願って
- ◇開校四十周年に寄せて
- ◇開校四十周年を祝して
- ◇創立四十周年を迎えて
- ◇我が心の母校へ
- ◇未来へ向けて

思い出

- ◇輝かしい伝統を土台に、更なる発展を
- ◇創立四十周年を祝して
- ◇五稜中の発展を祝して
- ◇回想二題
- ◇五稜中を誇りに
- ◇一応援団員として
- ◇五稜中での思い出
- ◇共に学んだ五稜中の七年間
- ◇清き流れの風の中で
- ◇わが母校五稜
- ◇この十年のあゆみ

沿革

- ◇この十年の教職員
- ◇この十年の生徒在籍数・卒業生数の推移
- ◇栄誉を賛えて／諸活動の成果
- ◇平成十二年度の五稜中学校
- ◇未来へむかって

- ◇創立四十周年を迎えて
- ◇二十一世紀に生きる／十年後のぼく・わたし
- ◇平成十三年度教職員
- ◇平成十三年度校内平面図

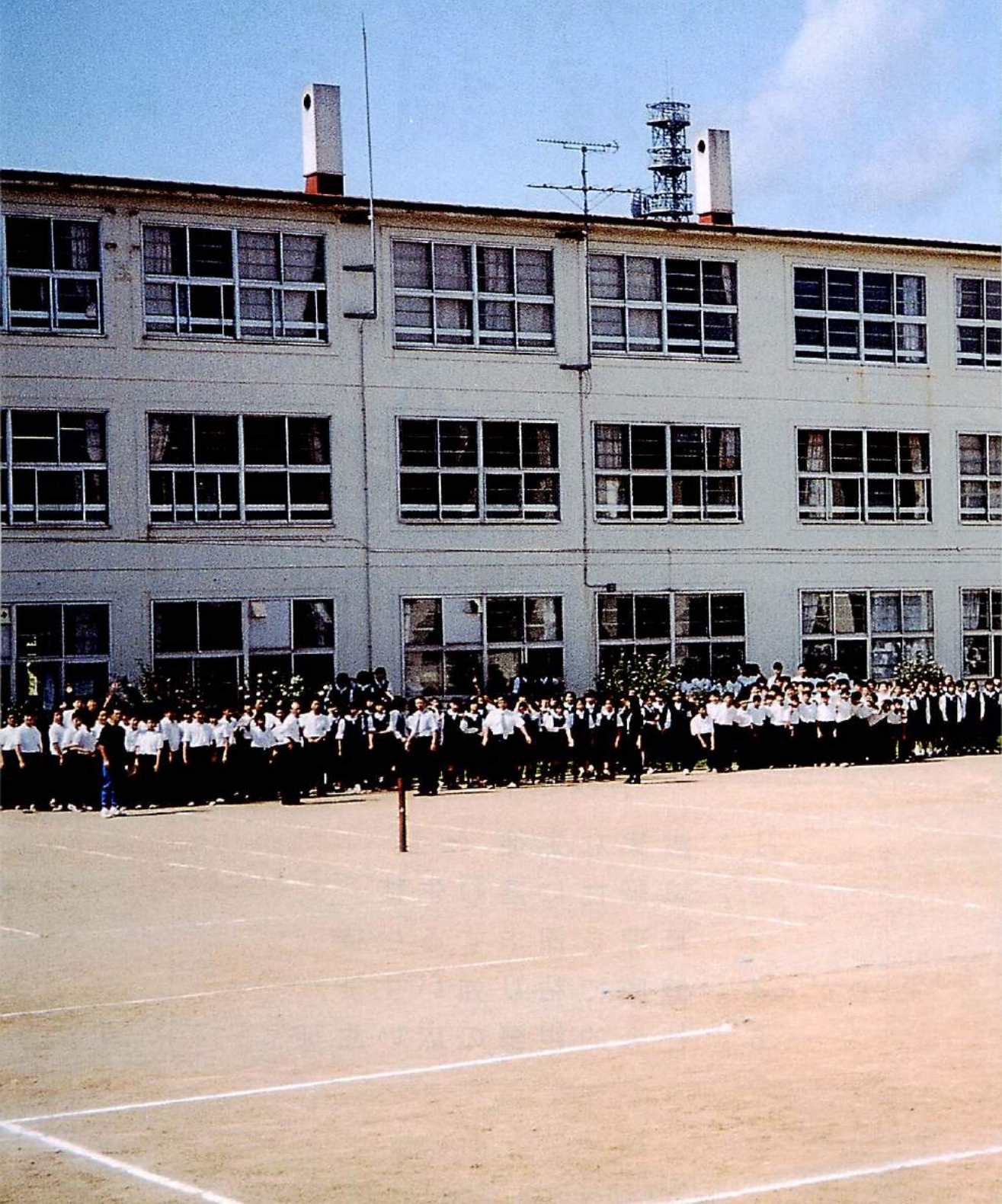
編集後記

もくじ

現在の校舎と生徒



開校四十周年を迎えた



校 訓

誠実 協調 真理 探求

五稜中学校
北海鷗亭書

五稜三訓

校 章



昭和37年3月6日制定

1. 外形は五稜郭の城趾の五角形を形どり、地域性を重視し表現す
2. 花は五稜郭城趾の桜の花で、文化を意味し、自主勉勵によって一層文化の發展向上を図る意味を表現す
3. 五稜を形どる線の間にある点は蕾をあらわし、これによって若い萌え出る力が手をつなぎあい、友愛協調の精神を表現す

五稜三訓

にこり挨拶
明るい一日

進んで清掃

きれいな学校

自主的判断

みんなで協力

昭和十九年 生徒会創立

学校教育目標

1. 誠実な生徒
2. 協調性に富む生徒
3. 真理を探求する生徒
4. 健康で粘り強い生徒
5. 社会的視野の広い生徒

五稜中学校校歌

誇りにみちて明るく

♩ = 108 ~ 112

小島 昌平 作詞

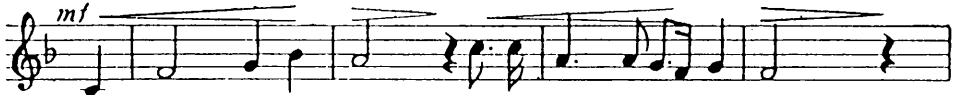
酒井 武雄 作曲



1. ひんが しー に こじょう いだきて
2. さくら ばー な しるし とあおぎ



たーた ーなわ る ごりょう がおーか は
とーも ーがき の かた く むすーび て



わ こ うど の いぶ き にみーち ぬ
う ち なら す じしゅの かねーの ね



み な かみ に ふる き をたず ね
ひ と すじ に まこ と をきわ め



あ ーた ーらし き ひか り にたーち て
き ーず ーきゆ く りそ う のすーが た



お お いなーる ちから ー のばさん ら ー のば さんー
あ あ ーとわに われら は えあ れ ら は えあ れ ー

二、

一、

あ あ とわに
築きゆく
ひとすじに
うち鳴らす
友がきの
さくら花
しるしと仰ぎ
堅く結びて
自主の鐘の音
理想のすがた
われら栄えあれ

新しい
光に立ちて
力伸ばさん
息吹きに満ちぬ
ふるきをたずね
水上に
若人の
たたなわる
五稜が丘は
古城いだきて

五稜中学校校歌



さらなる飛躍を願って

函館市立五稜中学校

校長 佐野 武

無限の可能性と未知なる発展を秘めた二十一世紀幕開けの年。

ここに本校の開校四十周年の記念すべき節目を迎えるに当たり、五稜中学校に在職できたことを光榮に思うと同時に、関係者の皆様と共に心から喜び、お祝いしたいと思います。

本校の歴史を顧みますと昭和三十六年四月、独立校舎やグラウンドもなく大川中学校・中央中学校（現・凌雲中学校）の一隅に間借りし、函館市立大川中学校田家分教場として誕生しました。

開校当時の生徒は、千代田小学校、八幡小学校、柏野小学校の卒業生併せて三〇四名の第一学年のみ七学級編制で、初代校長の沼山吉之助分教場主任を中心に教職員十一名による出発でした。当時、広い湿地と畑地であった現在地に念願の独立校舎の建設が決定し、昭和三十六年六月、新校舎建設地鎮祭が行われ、七月には第一期工事着工、十二月には、新しい校舎への移転が完了、その後、第五期の工事を経て現校舎の基礎が完成しました。

昭和三十七年四月、校名を「函館市立五稜中学校」と決定、初代校長は沼山吉之助先生でした。

第四代校長梶原四郎先生は開校当時について、「戦後の混乱が落ち着き、やや経済的に立ち直ったとはいえ、新校舎は立派でも、設備も少なく、校地内の整備にも手がつけられていない状態であり、当時の生徒、職員は沼山校長を中心に一致団結し、教育委員会、PTAの方々の大きな援助を受け校舎内外の整備に当たりました。」とお話されています。また、現在に至るまで一時期、学校が荒れたことがあると言うことなども耳にしました。

しかし、幾多の苦難の道を辿る中で本校の輝かしい伝統と校風を築かれた約二百六十名の教職員と諸先輩の努力による素晴らしい成果は、教育活動や部活動の面に見ることが出来ます。本校の卒業生は現在まで、約七八六〇名を数え、数多くの有為な人材を輩出し、函館市をはじめ道内外においていろいろな場で活躍されていると聞いております。

これも本校の校風・伝統の樹立、環境整備に心血を注いでこられた歴代校長を中心に教職員の方々、そして、ご支援下さいました保護者、地域の皆様と関係当局の方々のお陰と心から感謝申し上げます。

現在、第三の教育改革が足早に推し進められ、今年度は移行措置の最終年度となります。そして、来年度から完全学校週五日制の実施に伴い、新しい学校教育がスタートします。この四十周年の節目を機会に、「五稜三訓」を胸に刻み、生徒一人一人が心豊かにたくましく共に生きていくことをねらいとし、本校教育のさらなる飛躍のため職員の心棒となり誠心誠意取り組んで参る所存です。

最後に、今後もこれまでに以上に皆様の熱く、厳しいご指導を賜りますようお願い申し上げます。



開校40周年に寄せて

協 賛 会

会 長 近 藤 和 行

函館市立五稜中学校は昭和三十六年四月、大川中学校の田家分教場として開校、翌年四月に現在の校名となり二十一世紀始まりの記念すべきこの年に開校四十周年を迎えることが出来ました。これも一重に諸先生、PTAの皆様、同窓生、関係方面の方々の並々ならぬご支援の賜と心から感謝申し上げます。これまで約七千八百名の卒業生が巣立っていますが、それぞれが社会の一線でご活躍されております。特に開校初期のころは体育館も実験室もない環境の中で大変ご苦勞されたと聞いております。本校の教育目標である「誠実、協調性、真理探求、健康、社会的視野」は、四十年を経た今でも脈々と世代を越え今に受け継がれております。私も本校の卒業生であることに大きな誇りを持っております。校舎は老朽化しあちこち傷んでいますが、校舎内にはいつも生徒の明るく元氣な声が響きわたっています。

現在の生徒数は、各学年とも三クラスで三百名を切り開校当時の約三分の一になるほどの減少傾向にあります。生徒の減少に伴い部活も減る中で、野球部が市中体連で三十周年時の優勝に続き今回も見事優勝を飾りました。また吹奏楽部は道南コンクールで金賞をとるなど勉学にスポーツに数々の輝かしい成績を収めております。

二十一世紀に入り世の中が急激に変化する中、生徒の傾向も多様化しています。このような状況の中で従来の画一的な教育内容が見直され生徒一人一人の個性、能力を大切にし、豊かな人間性を培って行くゆとりの教育が来年度より始まろうとしています。その様な中で、五稜中学校の取り組みとしては、今年の夏休みに三年生が学校単位では市内で初めてという函館野外劇へ参加し、下級生は地域の職業体験や調査活動を行うなどがあります。知識だけではなく実社会を通して貴重な体験や新しい何かを発見できたことと思います。また海外派遣への参加など多方面にわたり積極的な活動を推し進めているところです。一方で、数年前に亀田川河川敷の清掃ボランティアへの取り組みが評価され表彰を受けるなど地道な活動も継続して行っています。

生徒のみなさんには、これから自分は何が出来るのか、今何をすべきかを人から与えられるのではなく自ら考え自らつくり出す努力をして欲しいものです。

四十周年という記念すべき年のPTA会長としてこの様な機会を与えられたことは誠に光榮であり、今後とも本校発展のために微力ではありますが全力をつくす思いを新たにしております。来るべき五十周年に向かって栄光ある五稜中学校の未来に榮えあらんことをお祈りします。

終わりに、開校四十周年記念事業にあたり各方面の方々よりお寄せいただきました絶大なるご支援ご協力に感謝申しあげ挨拶いたします。



開校40周年を祝して

函館市教育委員会

教育長 金 山 正 智

このたび函館市立五稜中学校が、開校四十周年を迎えられましたことは、誠に意義深く、本校に籍を置いた者といしまして、感慨ひとしおのものがあ、衷心よりお祝いを申し上げます。

本校は、昭和三十六年四月、函館市立大川中学校田家分教場として開設され、翌、昭和三十七年四月、校名を函館市立五稜中学校として独立し、開校しました。

以来、今日までの四十年間、本校は一貫して、地域の方々の負託にこたえる教育を積み重ね、輝かしい伝統と歴史を築き上げてこられました。

私が本校の校長の職に在りましたのは、平成五年四月から十月までという僅かな期間でしたが、本校の意欲的な教職員や生徒たちと、「五稜三訓」を核とした教育活動の推進に努めるとともに、自主的精神に充ちた人間性の育成を図ることをねらいとしたボランティア実践研究発表大会を推進できましたのも、学校に対する理解と協力を惜しまないPTAの皆様や地域住民の方々、同窓会各位の支えによるものと深く感謝しているところであります。

現在、本校は、人間尊重の精神の育成という視点から、亀田川清掃活動への取り組みによる地域環境の保全や、福祉に関するノーマリー教室の開催を通して、社会奉仕の心や温かい思いやりの心、また、互いに理解し助け合う心の育成に多くの成果を上げているところであります。

さらに、スポーツや文化活動にも大いに力を注いでおり、とりわけ今年度は、中体連の野球大会における市内制覇や、文化的ボランティア活動として、三年生全員が「函館野外劇」に出演するなど、四十年間の輝かしい軌跡に華を添えております。

こうした学業とスポーツの奨励、豊かな情操をはぐくむ優れた教育実践の数々を礎として、緑に囲まれた「史蹟五稜郭」を校区にもつ歴史と文化の香り漂う学び舎を巣立った卒業生は、七千八百六十六名を数え、函館市はもとより、広く全道・全国の各地で社会の中枢として活躍されております。これもひとえに、歴代の校長先生や先生方をはじめ地域や父母の皆様が、校訓「誠実・協調・真理探究」を目指して真摯な努力を続けられたたまものであり、改めて敬意と謝意を表する次第であります。

本校におかれましては、この意義ある四十周年を契機として、今後一層の飛躍を遂げられますことをご期待申し上げ、お祝いの言葉といたします。



創立四十周年を迎えて

函館市立五稜中学校同窓会

副会長 崎 野 隆 一

函館市立五稜中学校が創立四十周年を迎えましたことを、心からお祝い致します。記念誌に、同窓会として寄稿させていただきましたこと、誠に有難くお礼申し上げます。

五稜中学校に在校し、卒業した者として、当時を振り返ってみたいと思います。我々七回生の頃は、学校の校舎、体育館などは、ほぼ現在のものになっておりましたが、創立当時の不自由であった頃のようすなどを、先輩から聞かせてもらいました。昭和三十六年、五稜中は大川中田家分教場として、大川中三学級、中央中に四学級に分かれて、校舎を持たない学校としてスタートしました。翌三十七年に函館市立五稜中学校に学校名が決まり、その後、昭和四十年までに美術室、音楽室が完成しほぼ現在の校舎になったようです。創立当時、特に不自由であったのは、体育館がなかったため、通し教室を使って屋内の体育の授業が行われ、限られた狭いスペースで柔軟体操、マット運動、跳箱程度の運動しかできなかったことや、運動会が近づくこと、生徒がグラウンド整備に駆り出され、赤土をグラウンドにまき、小石拾い、ローラ引きなどグラウンド作りをしたことなど、新しい学校を作るため、先生と生徒が一緒になり、自分たちが学校を作るという、意識を持ち、常に意欲的でありました。このような不自由さが逆にバネになり、文化活動での入選、運動体育関係においても、陸上、卓球など、中体連において、数多くの活躍があり、我々後輩にも引き継がれ、先輩の残してくれた成績に恥じないよう、各種大会、文化活動においても、先輩に負けない成果をおさめることが出来ました。当時、先生方にも恵まれ、生徒一人一人の話を経験に聞いていただき、学習面、クラブ活動など、熱心に指導いただきました。しかしその反面注意する時は、徹底してきつく叱る先生が、多かったと思います。このような先輩、諸先生からの校風を受け継ぎ、三年間を過ごすことができました。学校周辺の環境も少しずつ変わってきておりますが、当時から、住宅地で落ち着いた感じの地域でした。駅前大門地区に代り、五稜郭本町地区、そして美原地区に商業地域が移り、ここ数年の環境変化の中、卒業後数年で、地域を離れるという状態が続き、同窓会が、今後成り立っていくのかという危惧もありました。しかし在校生の父母の中に同窓生がみられるという事をお聞きし、これからは地域に根ざした同窓会活動が、できるのではないかと期待が持てるようになりました。そして、今年度の卒業生を含めて本校同窓会の会員数は七八六名になります。これからは、五稜中が我々同窓生にとって、中学校時代の思い出の場であるとともに、さらに、先生と生徒が一体となり、創立時のように、自分たちが学校を作るんだという、希望と意欲を持ち続けて、ますます発展されることを祈念いたします。



我が心の母校へ

函館市立五稜中学校PTA

前会長 鈴木 康二郎

開校四十周年おめでとうございます。娘二人がお世話になり、わたしも平成六年四月から平成十一年三月までの五年間PTA会長をさせていただきました。娘達を通して生徒達、先生方、父母の皆様と共有できた時間を持てたことに、今でも感謝の気持ちで一杯です。

さて、ある年の入学式の祝辞のなかで、学校が君達に必要なのは、知識を得るだけなら本やインターネット、家庭教師や塾で十分で、君達同志で切磋琢磨して人間的に成長する為に必要であると言ったことがあります。これは、まさに今思えば親であるわたしにも同じことがいえました。自分としては、中学・高校と運動クラブで活躍し、勉強もほどほどに行い成績もまあまあで、大学へ入り、遊びも人並以上に遊び、恋をし、就職をし、仕事をこなし、絶えず周りには数多くの友人がいて、いつも楽しく明るく普通に生きて来たと思いい、けっこう常識人であると思つてPTA活動に参加してみても、クラブ活動ががんばること、勉強を一生懸命すること、遊ぶこと、仕事をこなすことも自分自身の為にやることは、あたり前で偉くも自慢出来ることではないとつくづく納得させられ、たいしたことのない自分を悟り、その上で、「人の為に何が出来るか」、「誰かの役に立つことが出来るか」、「人を応援することが出来るか」、これからの人生の生き方を、大切さを皆から教わりました。

母親達からは、自分が生んだ分身の絶対的な味方であり、子供達への無償の愛情の素晴らしさはどうしても客観的な見方の父親のわたしには、まったくかなわないものがありました。先生方からは、すべての親の考え方をまずは認め、誉め、いろんな考え方がある中で良い方向へ持っていくことを学び、また、自分が受け持った子を我が子のように気にかけて将来を見守っていることなどを学びました。生徒達からは、自分の時は見えなかったものを見せてもらいました。それは、勉強の得意な子、クラブ活動ががんばる子、全てにおとなしい子、勉強が嫌いな子、運動が嫌いな子、休み時間が好きな子、相手のことを考えられる子、自分の意見を伝えるのが苦手な子、不登校の子などそれぞれ四十人いれば、四十通りの生き方があり、成長の早い子、遅い子がいて当然のような気がしました。また、仕事の途中で町で卒業生に会うと未だに「会長」と声を掛けてくれて元気をくれます。もっとうれしいことにたまに遊ぶと来る卒業生もいて、若いエネルギーをいただいています。

そんなことから、わたしの人間的成長に大きく影響をくれた五稜中学校は、娘達同様わたしにとって母校であり、在校生の活躍と、卒業生の成長を絶えず気にかけ、期待し応援しています。また、五稜中PTAが父母の皆様の成長の場として、ますます明るく、楽しく活動することを祈っています。



未来へ向けて

函館市立五稜中学校

生徒会長 藤 島 直 哉

僕たちの五稜中学校も、とうとう今年で開校四十周年を迎えることになりました。四十年という長い年月がたち、この五稜中学校も、すっかり古びてしまいました。しかし、五稜中学校の校舎はこれまで、多くの先輩たちが残してきた輝かしい成績や素晴らしい伝統、校風で、すっかり染まっています。それも卒業していった多くの先輩たちの汗と努力の結晶だと感じています。僕は、その素晴らしい先輩たちの後輩であるという事を誇りに思い、そして先輩たちの意志を受け継ぎ、よりよい五稜中学校の校風を築き上げていかなくはなりません。そのために必要なことは、個々が努力し精進してゆくことが大切だと思います。

さて、今、開校四十周年を迎えるにあたって思うことは、生徒の基本方針である「五稜三訓」の一つ「自主的判断」が多少欠けているのではないかとことです。例えば、多数決をとるときでも、自分一人だけでは恥ずかしいなどと、つい周囲の人に合わせてしまったりと、自分の意見をしっかりと持つ人が減ってきているということです。そのせいか、つい周囲の人のペースにはまってしまう、積極性も欠けてきたりしているように感じられます。生徒一人ひとりが自主性を持つには、まわりの人の努力を知らなくてははいけないと思います。この当り前に生活している環境は、実は当り前ではなく保護者の方々や、先生方の並々ならぬ努力の証であると思います。その努力によってできた環境の中にいる僕たちが努力をしなくては何の意味もないと思います。生徒一人ひとりが、多くの人の努力に気づき、その努力に対して感謝の気持ちが自然に表れるようになった時、「自分も努力しなくては」という気持ちになり、だんだんと自分のペースを取り戻してゆけるのではないかと思います。

そんな、この五稜中学校の生徒達は素晴らしいものを、たくさん持つていると思います。例えば「五稜三訓」の「につこり挨拶、明るい一日」この言葉のおかげで、挨拶もさかんに交わされ、今では、多くの生徒が明るく、充実した学校生活を送っているように思います。

僕は、この五稜三訓に基づいて行動していけば、きつとお互いに協力し合い、向上していける生徒になることができるでしょう。今までの先輩達がそうであったように、僕達も努力を重ね、自分に欠けているものを見いだし、そして精進していくことが大切であり、僕達の中学校生活での一番の課題であると思います。その課題を乗り越えた時、きつと僕は、かけがえのない何かを手に入れているでしょう。そして、その自分にとってかけがえのないものは、後輩達の道しるべとなることだと思います。僕は、先輩達の残した足跡をたどり、さらに新しい足跡を残していかなくはならないのです。僕は道を切り開き進んで行くしかありません。その先にある輝く未来へ向けて。



輝かしい伝統を土台に、更なる発展を

十二代校長 堀井 透

平成四年、僅か一年間の短い期間でありましたが、五稜中学校には、教職最終の勤務校として、私にとつて忘れる事の出来ない特別な感慨があります。当時を振り返り、古い日記をたどってみました。「四月四日、生徒登校日、始めての生徒との出会い、明るく、さわやかな挨拶を受け感激」、「五月九日、修学旅行、今夜の宿は平泉衣川荘、生徒は規律正しく整然とした集団行動、夜もあまりうるさくない、十一時には全員床に就く」、「六月二十一日、中体連陸上競技大会、当番校として生徒は熱心に係活動に当る。他校の校長さんから、おほめの言葉を頂く」……

たいへん落ち着いた雰囲気の中で、活発に教育活動が進められており、本当に楽しく充実した一年間を送る事が出来た事に感謝しております。特に伝統となっていた生徒会を中心とした諸活動は、各委員会活動をはじめ、朝の挨拶運動、校内外清掃活動等、生徒の創意工夫が生かされ、自主的に熱心に進められていた事が、強く印象に残っております。又、開校以来三十数年経過した校舎や施設設備等は、随所に老朽化が目立ち、そのためPTAには大変なお力添えを頂きました。バックネットの補修、物置や石炭庫の解体撤去、環境美化のための植樹等々、広部会長をはじめ、PTA幹部の方々の献身的奉仕活動には全く頭の下がる思いでした。今日、教育改革がさげばれ「学校のあり方」が問われておりますが、学校が有効に機能するためには、教師、父母、生徒の信頼関係がしっかりと確立されている事が基本的要件だと思えます。子どもを核に教師、父母が全面的に協力し合う五稜中学校の素晴らしい伝統を土台に、更なる大きな発展を心から期待しております。



創立四十周年を祝して

十四代校長 近野 功

昭和三十六年の開校以来、脈々と流れ続けた五稜中学校が創立四十周年を迎えましたことをお祝い申し上げます、これまでご尽力されました皆様の熱意に対し心から敬意を表します。

私が五稜中学校に赴任したのは平成五年十月十六日でした。ひんがしに古城いだきて たたなわる五稜が丘は

若人の 息吹に満ちぬ……

校歌の一節にもある史跡五稜郭を横目に見ながら、亀田川に掛かる白鳥橋を渡って通勤した二年半の在籍を、今懐かしく思い起こしております。

春は、濛に映し出される爛漫たる桜花、秋は、道端を真紅に染める鈴なりのななかまど等々、四季折々の彩り鮮やかな変化を五稜中学校の校下には数多く見ることが出来ます。

このように恵まれた自然環境と合わせて、学校を愛し大切にす地域住民の誠意ある言動が随所に見られました。

また、当時のPTA会長はじめ役員の方々の、自然体で献身的な援助も三位一体の教育推進に資すること大なるものがありました。私は、年度途中の異動でした。しかし、教職員の細やかな配慮と地域や父母の方々の温かさに支えられて、前任の金山校長の堅実でセンスあふれる学校経営を受け継ぐことが出来ました。

そんな五稜中学校の校風に感謝し、誇りにさえ思う一人です。

校舎裏手を流れる亀田川に、往時の清流を甦らせようと願う地域の願いもあるようです。川の流れは絶えず低きを目指す柔軟さと、如何なる障害をも力強く乗り越えて流れ続けるたくましさを感じさせます。四十年を節目として五稜中学校の新たな歴史が、二十一世紀をさらに悠々と流れ続けることをご祈念申し上げます。



五稜中の発展を祝して

十五代校長 札内 征男

「ひんがしに古城いだきて……」と校歌の一節にありますように、五稜中学校は今も清新な若人の息吹きに満ちていることと存じます。開校四十周年、誠におめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。

私は、平成八年度から九年度まで、その五稜が丘でお世話になりました。生徒や地域父母の皆様、そして、教職員の方々に恵まれました。毎日が有意義で学ぶことの多い二年間でした。

直ぐ思い出されるのは、生徒会制定の「五稜三訓」に出会い、みんなでその実践化に取り組んだことです。毎日の週番活動や毎月一日の登校観察指導などでは、さわやかな挨拶が交わされていたのを覚えております。また、亀田川を美しくする会による美化活動への参加や五稜郭公園を含む校区内清掃を実施して、「小さな親切」運動より実行章を贈られるなど、各方面より評価されておりました。

こうした活動の背景として、五稜中が長年ボランティア協力校であったことがあげられると思います。ノーマリー教室の実践などでは、ともに生きることの大切さを教えられ、忘れられない貴重な体験となりました。

学校行事等への父母の協力も絶大なものでありました。特に、部活動の対外試合やコンクールなどでは、鈴木康二郎PTA会長さんはじめ多数の父母の皆様が応援に駆けつけてくれました。頭の下がる思いをしていました。

思い出は尽きませんが、開校四十周年を契機に、五稜中学校がますます発展することをご祈念申し上げます。



回想二題

十六代校長 鹿内 進

五稜中学校が開校して四十周年を迎え、心からお祝い申し上げます。私がお世話になったのは平成十年四月より十二年三月の退職まで二年という短い期間でした。教職生活の最終校として数々の思い出、地域の方々からの温かな支えと多くの教訓を得ることができ、感謝を申し上げたいと思います。二年間で強く記憶に残っている二点を記すことにします。

一つは、着任早々学級担任を交替したことです。四月一日に着任、学校経営方針と校内人事の発表を済ませ、校地内の見回りや地域関係者への挨拶など新任校での一日目を終えようとしているとき、学級担任から「出産予定と流産の危険がある」ことを聞かされた驚いた。入学式・始業式を数日後に控え、時間的余裕もない中での年度はじめの準備であります。翌日の朝、急遽期限付教員に学級担任を依頼、校内の指導体制を整え、新年度を無事にスタートさせたことが思い出されます。

二つめは、文化祭を地域施設を活用して実施したことです。芸術ホールが校区内に新設開館したのを機会に、学校利用第一号として本校の文化祭を「ハーモニー五稜郭」で開催を決めました。学級の生徒が力を合わせ創り上げた合唱を新装の舞台で生徒一人ひとりを引き立ててあげることが活動の大きなねらいでもあります。

当日、生徒の真剣でクラスが一つにまとまったの美しいハーモニーに触れ、多くの方の感動した姿を目にした光景が今でも懐かしく思い出されます。

地域と共に歩む五稜中学校が四十周年を境としてさらなる充実発展されることを祈念しております。



五稜中を誇りに

旧職員 吉田 孜

昭和六十年から十三年間お世話になりました。着任した当日、びっくりした事は、古い校舎ではありましたが、玄関、廊下、教室、どこを見ても掃除がいきとどいており、ピカピカになっていたことでした。生徒は勿論、用務員さん、先生方の日々の実践が一目でわかりました。「すばらしい学校へ来たな」と大変うれしく思ったことが印象として残っています。

又、朝の元気のよい「おはようございます」の声が生徒玄関で大きく響き、更に「やる気」を盛り上げて頂きました。

部活動では、野球部を担当させて頂きましたが、子ども達の熱意には、感動すら覚えました。監督の石津先生とともに、「盆と正月以外に休みなし」の練習が続きましたが、ほとんどの部員が毎日、毎日練習をこなし、外野の「球が見えませーん。」の声で終わります。残念なことに、新人戦で一度の優勝しかできませんでしたが、当時の「五稜魂」を今でも忘れることができません。

生徒会が中心となつて「五稜三訓」を決定し、父母・地域の方々にも御理解いただき、生徒一人ひとりが真剣に実践していた当時を思い出し、懐かしんでおります。

各行事ごと、誠心誠意協力して下さった父母・地域の方々、元氣いっぱいいる明るい生徒、そして適切な助言をいただいた諸先生方に支えられ、充実した日々を過ごさせていただきました。

二十一世紀を担う子どもたちに、更なる飛躍を願い、開校四十周年に心よりお祝いを申し上げます。



一応援団員として

旧職員 岩崎 鶴好

開校四十周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。四十年という本校の輝かしい歴史の一端を、当時の生徒や教職員の方々、保護者の皆様と一緒に過ごさせて頂いたことに深く感謝申し上げます。ノーマリー教室の開催（平成七年度）など、数々の思い出がありますが、最も思い出深いのは「リュックサック型カバンの採用」です。赴任一年目（平成五年度）、一年生担任のとき、学級懇談会で保護者から、生徒の学習用具の重さが指摘され、肩かけカバンが子ども達の健康に与える影響が問題になりました。学級で生徒と話し合い、この問題をテーマに壁新聞を作ることにしたのです。一週間生徒のカバンの重さを計ったり、東校医さんに、側わん症について説明していただいて、記事にしました。当時は文化祭の壁新聞コンクールがあり、この記事が目されて、金賞を得たのです。これが契機となつて、翌年、職員会議で現在使用のカバンの採用が決まったのです。これは、市内の中学のこの型のカバンの導入のさきがけとなつたのです。

退職後、再び「心の教育相談員」として、本校に勤務する機会に恵まれました。これも私には得がたい貴重な経験となりました。その折り、十一年度の文化祭の合唱を芸術ホールで聴いて、感動しました。本番の見事なハーモニーを響かせた各学級の合唱はもとより、早朝から、芸術ホール近辺や美術館前庭での声出し、リハーサルに真剣にとりくむ様子に、先生方の熱意溢れる指導、五稜中生徒の純真で誠実に努力する姿を見た思いで、本当に感動しました。今後も、五稜中の一応援団員として、心からエールを送り続けたいと思っています。益々の発展を祈念しております。



五稜中での思い出

旧職員 名古屋 貞俊

私は、平成七年四月から十年三月までの三年間の勤務でしたが、あつという間の三年間でした。部活動の指導は、前任校の亀田中でも指導していた「サッカー部」を指導しました。その時のサッカー部員・先生方・保護者の目標は、中体連で一勝することと聞かされました。実際、練習を始めたなら一勝するのが大変であるなあと感じました。一つに、メンバーの中核となる三年生が二人しかいない。二つ目に、グラウンドが狭いだけでなく野球部と共用でより一層狭い。一番ショックを受けたのは、休みの日の練習に主力の選手が無断で休むことでしたし、練習試合に予定している選手が無断欠席をすることでした。しかし、一年生部員が多く入ったので、今は駄目でも二年後には勝たせたいと思い練習に望みました。狭いグラウンドと短時間で効果を上げる工夫をしたり、広いグラウンドに慣れるために、練習試合は広いグラウンドを持っているチームにお願いをして試合をしてもらいました。二年目に入ってからには練習試合でも勝てるような気運が高まってきたが、中体連では勝つまでにはいかなかった。三年目になってからは、勝つことも覚え中体連にのぞみました。ただ、その時の相手が優勝候補にも上げられていた「銭亀沢中」であったので、選手たちにはかなりのプレッシャーのようでした。試合が始まったら、悲願の一勝の思いが全てを乗り越え「勝利」を収めることができ、選手たちは優勝したような歓喜でした。指導者冥利に尽きる一瞬でもありました。良い思い出として残っています。また、一勝をあげた生徒が卒業するときに記念に特製「ユニフォーム」をプレゼントしてくれました。これは、思い出として大事にとっています。



共に学んだ五稜中の七年間

旧職員 萩野 雅彦

私が五稜中に赴任したのは平成四年のこと、その後、七年間お世話になりました。七年もいたのですから、当然といえば当然ですが、数々の思い出や多くの生徒達・先生方・保護者の方々と触れ合いが浮かんできます。

平成五年はボランティア研究大会が開催された年ですが、地域のボランティア活動に積極的に参加していった最初の年でした。五稜郭公園での野外劇に、有志の生徒を連れて参加し一緒に舞台に立ったこと、七月の早朝、眠い目をこすりながら亀田川清掃に参加したこと——今でも新聞に載せられているその記事を読むたび、生徒の手によって伝統が築かれていくのだという、あたり前のことを実感せざるをえません。

平成八年には、全市生徒会協議会の事務局を任せられました。当時の生徒会は、会長を中心に皆仲良く、そして意欲的で力のあるメンバーでした。総会の準備から司会進行まで手際よく進め、五稜中の生徒の質の高さを全市に知らしめました。

平成十年は、文化祭の合唱コンクールが芸術ホールで行われた年です。各学級の合唱はもちろん、全校生徒で歌った校歌はホール中に響き渡り、私の教員生活の中で最も感動的な合唱で、今でも耳に残っています。

職員駐車場に一本の桜の木があり、その木の下が私の駐車場でした。春には濡れた桜の花びらが車に模様のように張りつき、帰路、街行く人々の目を楽しませていました。そんなことも懐かしく思い出されます。二十一世紀の始まりと共に、また多くの方々がこの五稜中で多くの思い出を作られることを願っています。



清き流れの風の中で

旧職員 信田 博之

春また冷たい風の中、五稜中学校に赴任したのは、早十年以上前のことになります。なぜかしら、しつとりとしたその雰囲気、校舎を包む空気の中に感じられました。落ち着きのある大人の何かが、そこに存在していたことを思い出します。

いったい、何がそう感じさせたのでしょうか。校舎そのものの柔らかなぬくもり、しかしそれだけではありませんでした。やはりですね。教職員はもろろんのこと、ここに学ぶ生徒ひとりひとりの聡明な瞳の輝きが、全てを物語っていました。それはまるで、五月の青空のようにどこまでも透き通っていました。真実を探究する時に、己の限界に挑戦するときに、新しい道を切り開こうとするときに、多くの瞳の持ち主が、皐月の新鮮な風のように感じられました。

そのような多くの生徒たちが、日々の生活の中でたくましくと理性を育み、この学舎で成長し果立っていったことを、このうえない喜びと、卒業のたびに感じられたものでした。別れの朝の玄関先は、毎年のように、雪解け水が足もとを不確かなものにし、ぬかるみをさけるように、足の置き場を探す姿が。時にはまだ早春の雪が銀杏の木々の枝に、綿帽子をかぶせていたことが、昨日のこのように脳裏に浮かびます。やはり五稜の生徒には清楚という言葉が似合います。

体育館へとつなぐ二間廊下を、みなさんは、何を思いその歩を進めていましたか。自分には、ふと、いろいろなことを考えさせてくれる、ひとつの空間だったような気がします。毎日あの細長い直線を何往復かしていたころ、ある時は授業の構成を考えたり、あるいは生徒に何を話そうか伝えようかと、またあるときは反省や喜び、そして悲しみを、心の中で反芻していたのかもしれない。

入学式で緊張の思いを持ち、並んだ廊下。卒業式で退場の後、涙があふれたのもこの廊下。誰もが心を引き締めて通りすぎた瞬間を、この長い直線は見続けていたことでしょうか。そして、それはまるで、飛行場の滑走路のように、この地で学んだ者たちを、新たな旅立ちへと離陸させて行くのではないでしようか。

自分もそんなひとりだったのではないかと、今、ふと思えます。充実した時間をこの地で過ごせたこと、あまりにも多くのことを学ばせていただいたこと。現在の自分のほとんどが培われたと思われまふ。

人との出会いは財産といわれますが、今その言葉の意味が、少し自分のものになったような気がいたします。ふと顔をあげると、空には青い空が、そしてあの日と同じように、白い雲が、涼しげに流れています。あの時の夢を、思いを、そして理想を、今現在も心の中に、抱えています。

その思いは、果てしなく熱く、あくまでも清らかに。五稜中学校での生活に心から感謝いたしております。四十周年、おめでとうございます。



わが母校五稜

旧職員 浦野 志織

六年前の四月、私は、自分の故郷を離れ、教員として函館へ赴任して参りました。そして、そのスタート地点が、この五稜中学校だったのです。不安と期待が入り混ざった複雑な気持ちで、五稜中学校に足を踏み入れたことを今でもはつきりと覚えています。そんな右も左もわからず緊張していた私に、周囲の先生方は、とてもやさしく、そして温かく接してくださいました。素晴らしいお手本となる先生方が多くいらしたので、その先生方を見て、いろいろと学ばせていただきました。現在の教師として私が在るのは、本当に五稜中学校で出会った先生方のおかげだと思えます。

生徒たちはとても素直で、生き生きとしており、その姿に私自身もいつも励まされていました。体育大会や文化祭などで共に力を合わせて作り上げたものは、私の大切な思い出であり、財産です。さらに五稜中学校での四年間で、私は、多くの保護者の方々にも出会いました。経験のない未熟な私に、どの保護者の方も理解し、協力してくださり本当に感謝しております。PTAバザーの準備・運営では、保護者の方々の力強いパワーを感じ、そのパワーのもとで、子どもたちは健全に育まれているのだなあと実感しました。学校は、生徒・保護者（地域）・教員の三つの柱で成り立っています。その柱のバランスよく、それぞれの力が存分に発揮されているのが五稜中学校だと思えます。

五稜中学校は、まさに私の母校であり、一生忘れることのできない学校です。これからも、五稜中学校のよき伝統を大切にします。ますますご活躍、ご発展されることをお祈り申し上げます。

この十年のあゆみ





PTA植樹 H 4



「ゴール目前」五稜郭マラソン H 3

沿 革

【平成三年度】

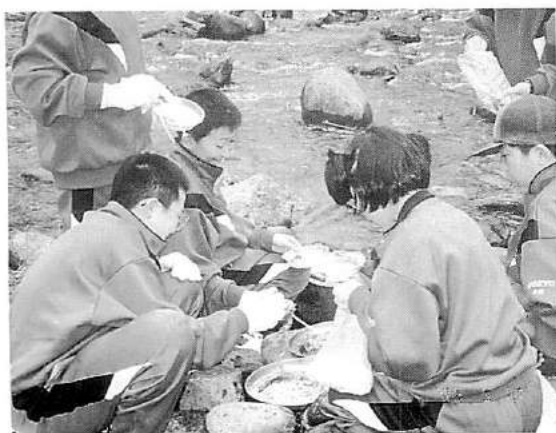
- 4 グランド全面改修工事完了
- 5・30 開校三〇周年記念体育大会
- 7・12 函館市中体連野球大会で優勝
- 9・6 開校三〇周年記念演劇鑑賞
- 10・4 開校三〇周年記念式典・文化祭一日目
- 10・5 五稜郭養護学校との交換会・文化祭二日目
- 10・12 開校三〇周年記念祝賀会
- 10・29 PTA父母会グランド防球ネット張り
- 11・29 英語指導助手ティモシー、ホフマン氏来校

【平成四年度】

- 4 南玄関前整地
- 5・17 吹奏楽部五稜郭祭パレード参加
- 6・18 PTA植樹
- 6・30 部活動後援会設立会
- 9・4 学校週五日制について父母説明会

【平成五年度】

- 6・6 PTAグランド南側フェンスネット張り
- 6・16 カルガリー大学実習生来校
- 9・22 南西沖地震被害慰問ピアノ演奏会
(ロシアのナウム・シユクルクマン氏)
- 9・28 ボランティア実践研究発表会
- 10・6 英語指導助手マセソン氏来校
- 10・20 PTA井戸端講演会



「おいしそうに焼けたかな」炊事遠足 H 7



「自治活動を目指して」生徒総会 H 5



小さな親切運動 実行章受章 H9



ボランティア 亀田川河川敷清掃 H7

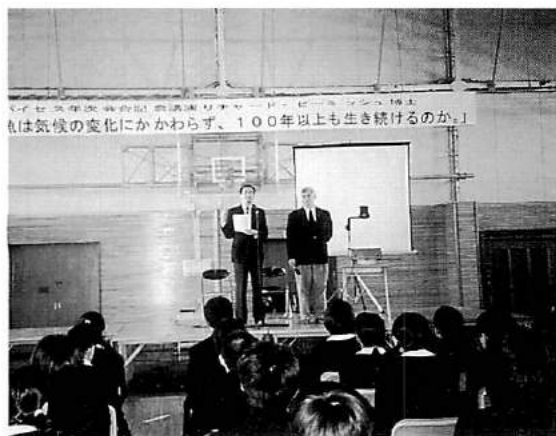
- | | |
|--|--|
| <p>7・27 キュービクル設備工事開始</p> <p>5・19 一、三階トイレの水回り工事</p> <p>【平成一〇年度】</p> <p>12・5 小さな親切運動実行章受章</p> <p>10・10 合同演劇発表大会参加</p> <p>10・3 全道国語教育研究大会公開授業</p> <p>9・13 一階渡り廊下トイレ改修工事開始</p> <p>4・5 一階トイレブース改修工事開始</p> <p>【平成九年度】</p> <p>3・3 牛乳パックリサイクル試行</p> <p>9・19 全道技家教育研究大会公開授業・分科会場</p> <p>7・15 共同募金会から学校表彰受賞</p> <p>4・9 校門前フェンス取り付け工事開始</p> <p>【平成八年度】</p> <p>2・16 防球ネット新設改修工事着工</p> <p>8・31 地域ノーマリー教室開催</p> <p>7・22 ボランティア 亀田川河川敷清掃</p> <p>【平成七年度】</p> <p>10・12 全道特別活動研究大会・授業公開</p> <p>8・9 ブール解体工事・整地開始</p> <p>5・3 グランド転圧</p> <p>【平成六年度】</p> <p>3・26 校舎前水道管改修工事</p> <p>2・23 コンピュータ七台増設</p> <p>11・15 校舎正面ロータリー付近の整地</p> <p>11・13 二間廊下床下補修工事</p> <p>11・1 ジャージ等検討委員会</p> <p>10・27 吹奏楽部五稜郭義護学校との交流学习</p> | <p>10・27 吹奏楽部五稜郭義護学校との交流学习</p> <p>11・1 ジャージ等検討委員会</p> <p>11・13 二間廊下床下補修工事</p> <p>11・15 校舎正面ロータリー付近の整地</p> <p>2・23 コンピュータ七台増設</p> <p>3・26 校舎前水道管改修工事</p> <p>【平成六年度】</p> <p>5・3 グランド転圧</p> <p>8・9 ブール解体工事・整地開始</p> <p>10・12 全道特別活動研究大会・授業公開</p> <p>【平成七年度】</p> <p>7・22 ボランティア 亀田川河川敷清掃</p> <p>8・31 地域ノーマリー教室開催</p> <p>2・16 防球ネット新設改修工事着工</p> <p>【平成八年度】</p> <p>4・9 校門前フェンス取り付け工事開始</p> <p>7・15 共同募金会から学校表彰受賞</p> <p>9・19 全道技家教育研究大会公開授業・分科会場</p> <p>3・3 牛乳パックリサイクル試行</p> <p>【平成九年度】</p> <p>4・5 一階トイレブース改修工事開始</p> <p>9・13 一階渡り廊下トイレ改修工事開始</p> <p>10・3 全道国語教育研究大会公開授業</p> <p>10・10 合同演劇発表大会参加</p> <p>12・5 小さな親切運動実行章受章</p> <p>【平成一〇年度】</p> <p>5・19 一、三階トイレの水回り工事</p> <p>7・27 キュービクル設備工事開始</p> |
|--|--|



「水戸黄門」文化祭職員劇 H11



「車いす大変だなあ」ノーマリー教室 H10



「さすが！ 博士の講演」 H12



たくさんひろった校外清掃 H11

10・23 函館市青少年芸術奨励事業表彰式
 10・17 コンピュータ室工事・新コンピュータ設置
 9・18 文化祭ふれあいの時間開始
 8・31 AET研修会
 8・25 ユジノサハリンスク市へ三年生一名海外派遣
 8・11 函館野外劇にボランティア参加
 8・9 生徒会長、平和大使として長崎訪問
 7・4 ふれあいの時間開始
 5・22 グランドフェンス工事開始
 5・13 前庭いちようの木剪定

【平成一二年度】

3・11 グランド防球ネット工事
 3・9 用務員室ボイラー取り替え工事
 2・5 業作品展示
 12・25 青少年交流団ユジノサハリンスク市派遣
 11・10 体育館二間廊下センサー取り替え工事
 9・29 函館の街をきれいにする市民運動協議会より表彰
 9・4 体育館渡り廊下屋根葺き替え工事
 6・29 校外清掃についてNHKテレビ放映
 5・7 職員トイレ排水工事
 3・23 体育館スピーカー取り替え工事

【平成一一年度】

9・16 全道社会科教育研究大会授業公開
 11・5 廊下蛍光灯取り付け工事
 1・14 心の教室相談室工事
 3・23 体育館スピーカー取り替え工事



背筋を伸ばして「1、2、3、4」 H12



「思いを語る」私の主張 H12



やったぜ！ 野球部 函館市No.1 H13



思い出を胸に新たなる旅立ち H12

10・11	10・10	8・24	8・4	7・28	7・28	7・25	7・18	7・14		7・10	7・2	6・23	6・10	6・8	5・25	5・7	4・13		2・23	2・20	2・19	1・16	11・10	11・5	10・27	10・24	
【平成一三年度】																											
開校四〇周年記念式典・文化祭（体育館）																											
引率（校長）																											
ユジノサハリンスク市へ中学生海外派遣団																											
全道中体連剣道大会																											
吹奏楽コンクールで金賞受賞（C編成）																											
「総合的な学習の時間」で三年生野外劇参加																											
三階女子トイレ改修工事、壁補修工事開始																											
渡島支庁大会（剣道、柔道、軟式野球）																											
函館市IT講習会開始																											
函館市中体連総合競技大会（剣道女子個人戦、柔道男子個人戦、軟式野球優勝！！）																											
道南ブロック吹奏楽祭																											
ふれあいの時間開始																											
函館市中体連陸上競技大会（当番校）																											
コンピュータ室配線工事																											
開校四〇周年記念第四一回校内体育大会																											
ノーチャイム開始																											
体育館渡り廊下床修理工事開始																											
八幡小学校訪問交流																											
技術室外水道管工事																											
子ども歌舞伎鑑賞教室（芸術ホール）																											
教室入り口戸取り替え工事																											
ゴミポイ捨て防止標語入りポスター表彰式																											
シドニーへ二年生一名海外派遣																											
二階トイレ工事開始																											
パイセス講演会でR・ビーミッシュ氏来校																											

【平成一三年度】



楽しかった野外劇 H13



吹奏楽コンクール金賞受賞 H13

この十年の教職員

校長

十二代校長

堀井

透

H 4

十三代校長

金山正

智

H 5

十四代校長

近野

功

H 5
H 7

十五代校長

札内征

男

H 8
H 9

十六代校長

鹿内

進

H 10
H 11

十七代校長

佐野

武

H 12

教頭

十一代教頭

斉藤正

宏

H 4
H 5

十二代教頭

山岸秀

一

H 6
H 8

十三代教頭

小林武

征

H 9

十四代教頭

山本俊

秀

H 10
H 13

十五代教頭

高橋

登

H 13

教諭

吉田

大久保

美奈子

孜

S 60
H 9

吉田

安宏

S 61
H 7

高橋

一也

S 62
H 7

辰宮

稔

S 62
H 4

村井

貞夫

S 62
H 7

田村

順子

S 62
H 6

齐藤

克己

S 63
H 4

松山

元彦

S 63
H 8

古館

勉

S 63
H 6

佐藤

泰治

H 1
H 4

浅井

庸子

H 1
H 4

木村

以久子

H 1
H 8

中谷

満

H 1
H 7

井筒

泰三

H 2
H 5

杉山

春吉

H 2
H 8

大村

俊幸

H 2
H 9

信田

博之

H 3
H 9

辰巳

美恵子

H 3
H 9

萩野

雅彦

H 4
H 10

内木

竜彦

H 4
H 7

岩崎

鶴好

H 5
H 8

笹谷

巖

H 5

藤森

剛

H 5
H 6

梅原

孜

H 5
H 8

64
170
270

養護教諭

後藤

賢一

H 6
H 11

名古屋

H 7
H 9

田中

H 7
H 12

山口

H 7
H 10

阪井

H 8
H 10

越田

H 8
H 10

伊勢

H 8
H 10

辻吉

H 8
H 10

佐藤

H 8
H 11

浦野

H 8
H 11

鮫川

H 9
H 10

大宅

H 9
H 10

桑野

H 9
H 10

戸田

H 9
H 10

鶴田

H 9
H 10

菊地

H 10
H 10

輪島

H 10
H 10

笹原

H 11
H 10

大原

H 11
H 10

渡辺

H 12
H 10

阿部

H 12
H 10

七宮

H 13
H 10

齊藤

S 62
H 5

森

H 6
H 12

給食		用務員		事務職員		相談員		
稲垣良子	熊谷トシ	高山野雄	工藤秀夫	坪田正明	松本恭右	近江谷千春		
H11	S53	H12	H11	H7	H6	S63	S62	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
	H10		H11	H10	H5	H6		
相原郁夫	楢山栄子	熊倉啓恵	三上のり子	登坂紀陽	稲葉陽郁	泉郁子		
H12	H10	H7	H5	H5	S63	S61		
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
		H8	H11	H7	H4	H4		
今井正夫	岩崎鶴好							
H12	H10							
〃	〃							
	H11							
喜多山輝代								
H13								
〃								

この十年の生徒在籍数・卒業生徒数

年度	学級数	生徒数	卒業生数				
			回	男子	女子	合計	累計
H 4	1 3	4 6 5	3 0	9 1	7 9	1 7 0	6, 7 9 6
5	1 2	4 5 1	3 1	7 0	8 6	1 5 6	6, 9 5 2
6	1 2	4 3 8	3 2	7 9	6 7	1 4 6	7, 0 9 8
7	1 2	4 4 5	3 3	6 6	7 6	1 4 2	7, 2 4 0
8	1 2	4 2 5	3 4	7 3	7 4	1 4 7	7, 3 8 7
9	1 1	3 8 0	3 5	8 0	6 9	1 4 9	7, 5 3 6
1 0	1 0	3 3 2	3 6	6 3	6 0	1 2 3	7, 6 5 9
1 1	9	3 0 4	3 7	6 1	4 5	1 0 6	7, 7 6 5
1 2	9	2 8 8	3 8	4 4	5 7	1 0 1	7, 8 6 6
1 3	9	2 9 2	3 9	4 5	4 8	9 3 予定	7, 9 5 6 予定

栄誉を讃えて

部活動の成果

※平成四年度

― 体育行事 ―

《中体連競技大会》

○卓球 団体 優勝

個人 第二位 西口 勇(三年)

第三位 増川 健二(三年)

第三位 大高 尚(三年)

(右の三名は全道大会出場)

○野球 第三位

○バスケットボール

女子 第三位

○柔道 個人戦女子56kg以下級

第三位 久留利浩代(一年)

○水泳競技

一〇〇M平泳

優勝 小笠原さおり(三年)

二〇〇M平泳

優勝 小笠原さおり(三年)

一〇〇Mバタフライ

第三位 黒田 史穂(一年)

二〇〇Mバタフライ

優勝 黒田 史穂(一年)

《全道中体連水泳競技大会》

二〇〇M平泳

第五位 小笠原さおり(三年)

《道南卓球新人戦》

団体戦 第三位

○陸上競技

一〇〇M 第八位 戸島 潤(三年)

一〇〇MH

第六位 戸島 潤(三年)

砲丸投 第二位 滝田 圭(三年)

三種競技A

第六位 木村 晋哉(三年)

三種競技B

第八位 二瓶 匠(三年)

八〇〇M 第二位 西口しのぶ(二年)

砲丸投 第三位 久留利菜菜(三年)

三種競技B

第八位 安原ゆかり(三年)

― 文化行事 ―

《吹奏楽コンクール》

函館地区大会

銀賞

《中学校夏休み自由作品展》

社会科教育研究会

銅賞 久留利浩代(一年)

《全日本書道コンクール》

中二の部

最優秀大賞 柏 充(二年)

《南北海道学生書道展》

優秀賞 柏 充(二年)

《毎日子どもピアノコンクール》

函館地区中学校の部

銀賞 佐々木美嘉(二年)

入賞 丸井 景子(三年)

※平成五年度

― 体育行事 ―

《函館市中体連競技大会》

○陸上

(男子)

二〇〇M 第八位 高瀬 龍文

八〇〇M 第六位 湊 康太

一年一五〇〇M 第三位 玉森 和久

J四〇〇MR 第七位 植田 大介

長内 良二

工藤 秀太

玉森 和久

松村 康仁

福井 拓也

(女子)

一〇〇MH 第七位 松行 麻里

三年八〇〇M 第三位 西口しのぶ

一五〇〇M 第五位 西口しのぶ

三種競技B 第八位 渡辺 可奈

○野球 優勝

○卓球 団体 準優勝

個人 優勝 蒲生 豊

第三位 棚上 大輔

(右の二名は全道大会出場)

○水泳

〔女子〕

一〇〇M自由型

優勝 熊谷 翼

二〇〇M自由型

優勝 熊谷 翼

一〇〇Mバタフライ

優勝 黒田 史穂

二〇〇Mバタフライ

第二位 黒田 史穂

《全道中体連競技大会》

○水泳

〔女子〕

一〇〇M自由型

第四位 熊谷 翼

二〇〇M自由型

第二位 熊谷 翼

二〇〇Mバタフライ

第八位 黒田 史穂

《渡島支庁大会》

○野球

準優勝

《新人戦大会》

○野球 第三位

○卓球 団体 第三位

個人 第三位 宮崎 慎一

—文化行事—

《吹奏楽コンクール》

函館地区大会

銀賞

《NHK合唱コンクール》

道南地区大会

銅賞

《リコーダーコンクール》

道南地区大会

金賞(全道大会へ)

《函館市青少年芸術コンクール》

音楽部門 銅賞 市島祐起子

書道部門 入選 柏 充

文学部門 入選 館下ひとみ

《毎日新聞・作文コンクール》

テーマ 明日をみつめて

三年 入選 赤山 りえ

一年 入選 榎森 育美

入選 黒田沙枝子

入選 斉藤 敦子

入選 横山 友紀

入選 松村麻衣子

《消費生活ポスターコンクール》

一年 入賞 鈴木たか子

《函館市社会科自由研究展》

一年 銅賞 山本 千鶴

※平成六年度

—体育行事—

《函館市中体連競技大会》

○陸上

〔男子〕

二年一〇〇M 第八位 工藤 秀太

二年一五〇〇M 第八位 友田 聡史

走高跳 第二位 植田 大介

三種競技A 第六位 長田 良二

〔女子〕

一年一〇〇M 第六位 石塚 香理

二年八〇〇M 第四位 松行 麻里

一五〇〇M 第五位 松行 麻里

一〇〇MH 第五位 大野まり子

砲丸投 第四位 熊谷 翼

三種競技B 第八位 藤原美和子

J四〇〇MR 第四位 石塚 香理

下田 倫子

大野まり子

松行 麻里

○卓球 団体 優勝(渡島大会出場)

個人 優勝 宮崎 慎一

準優勝 佐原 耕一

第三位 村屋 賢一

水泳
第四位 岡川 豊典

二〇〇M個人メドレー

第一位 熊谷 翼

一〇〇Mバタフライ

第一位 熊谷 翼

五〇M自由型

第二位 黒田 史穂

一〇〇M自由型

第五位 黒田 史穂

四〇〇Mメドレーリレー

第三位 黒田 熊谷

波間 浜田

《全道中体連競技大会》

水泳

二〇〇M個人メドレー

第一位 熊谷 翼

二〇〇M自由型

第一位 熊谷 翼

《全国中央連競技大会》

水泳

二〇〇M個人メドレー

出場 熊谷 翼

二〇〇M自由型

出場 熊谷 翼

《新人戦》

卓球 団体 準優勝
《新人戦全道大会》
卓球 団体 第三位

文化行事

《函館市児童生徒音楽コンクール》

銅賞 亀井 美佳

《消費生活ポスターコンクール》

優秀賞 東 静香

入選 石岡 奈々

入選 網森 史泰

《環境壁新聞コンテスト》

優秀デザイン賞 薔薇 2-B

《市民憲章児童生徒書道展》

銀賞 亀谷 和弘

銅賞 小川 香理

佳作 住山 千尋

《小・中学校の税に関する書道展》

支部長賞 伊藤 裕子

《中学生人権ポスター展》

佳作 金丸のぞみ

佐藤 裕介

富樫 真澄

松村麻衣子

横山 友紀

榎森 育美

《中学生人権作文コンクール》

入選 横山 友紀

《心の輪を広げる体験作文集》

優秀作品 横山 友紀

《吹奏楽コンクール》

函館地区大会

金賞 吹奏楽部

《HBC子ども音楽コンクール》

優良賞 合唱部

※平成七年度

体育行事

《函館市中体連競技大会》

陸上

〔男子〕

一年一五〇〇M 第五位 荒木田 保

二年一五〇〇M 第三位 大内 太郎

三年八〇〇M 第五位 友田 聡史

〔女子〕

一年一〇〇M 第八位 佃 晶絵

三年八〇〇M 第四位 松行 麻里

三年一五〇〇M 第六位 松行 麻里

三種競技B 第八位 大野まり子

J四〇〇MR 第七位 下田 倫子

佃 晶絵

根本 美佐

石塚 香理

信田 真希

《函館市中学校体育大会総合競技大会》

○卓球 団体 優勝(渡島大会出場)
個人 優勝 山崎 修司

準優勝 小 栗明

第三位 石黒 大貴

第四位 長谷川孝治

○バスケット 第三位 女子

《中体連水泳大会》

○水泳

一〇〇M平泳ぎ

第二位 黒田 真也

二〇〇M平泳ぎ

第一位 黒田 真也

《新人戦》

○野球 優勝 野球部

文化行事――

《函館市青少年芸術教育奨励事業》

書部門 佳作 柏 慎子

音楽部門 入選 高田 幸昌

《青少年読書感想文コンクール》

優秀賞 小橋 沙織

《市民憲章児童生徒絵画・書道展》

銀賞 金子 美貴

銅賞 信田 真希

《渡島地区少年の主張大会》

優良賞 河合 美里

《奎星会書道コンクール》

秀作 金子 みき

《消費生活ポスターコンクール》

入賞 井岸 敬貴

小倉みや子

小柳なつみ

金子めぐみ

須藤 輝子

《函館市環境壁新聞コンテスト》

優秀賞 佐藤 卓他

長内 崇

鈴木美津実

山下 春美

蝦名あゆみ

千田 智弘

佐藤 裕介

市島加奈子

《青少年読書感想文コンクール》

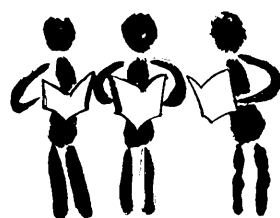
入選 小橋 沙織

《道南吹奏楽コンクール》

銀賞 吹奏楽部

《NHK合唱コンクール》

銅賞 合唱部



※平成八年度

――体育行事――

《函館市中体連競技大会》

○陸上

〔男子〕

一年一〇〇M

三年四〇〇M

一五〇〇M

走高跳

三種競技B

〔女子〕

三年八〇〇M

一〇〇MH

走幅跳

《函館市中体連総合競技大会》

○卓球 団体 第三位

個人 優勝 橋野 卓

(全道大会出場)

○野球 第三位

《新人戦》

○野球 準優勝

《通信陸上競技大会》

一年一〇〇M 第二位

11秒8 辻 雅彦

《全道新人陸上競技大会》

一年一〇〇M 第二位

12秒08 辻 雅彦

《第二十七回ジュニアオリンピック大会》

都道府県対抗選抜リレー

第五位 全道選抜チーム

(辻 雅彦)

《道南陸上競技協会》

優秀選手賞 辻 雅彦

— 文化行事 —

《市民憲章児童生徒書道展》

銅賞 一戸 恵(二年)

佳作 田中 望(二年)

《小・中学校の税に関する書道展》

特選 柏 慎子(二年)

佳作 伊藤 裕子(三年)

《環境美化活動の作文コンクール》

入賞 横沢 篤(二年)

泉 加奈子(二年)

《青少年読書感想文コンクール》

入賞 阿部 智花(二年)

市島美紗子(二年)

菅原 真結(二年)

《第二回馬の絵作品展》

入賞 塩谷 光広(三年)

《函館市青少年芸術教育奨励事業》

文学部門 佳作 藤山なお子(二年)

宮腰 寛之(三年)

書道部門 佳作 柏 慎子(二年)

音楽部門 奨励賞 高田 幸昌(三年)

《全国地域安全運動中学生意見発表大会》

優秀賞 宮腰 寛之(三年)

奨励賞 榊 克博(二年)

《第四十六回全国書道コンクール》

(全書芸)

最優秀大賞 柏 慎子(二年)

《管楽器個人アンサンブルコンクール》

函館地区 優秀賞 佐々木 瑠(二年)

優良賞 網森 智子(二年)

《消費生活ポスターコンクール》

優秀賞 阿部 智花(二年)

篠崎 愛美(二年)

根本 佐紀(二年)

高橋 菜美(三年)

入選 佐々木啓顕(二年)

志村 博紀(二年)

横内 麻夢(二年)

《吹奏楽コンクール》

北海道南ブロック大会 C編成の部

金賞

※平成九年度

— 体育行事 —

《函館市中体連競技大会》

○陸上

(男子)

二年一〇〇M 第一位 辻 雅彦

二〇〇M 第一位 辻 雅彦

一一〇MH 第六位 浅田 光博

一五〇〇M 第六位 富樫 直人

八〇〇M 第八位 荒木田 保

四〇〇MR 第五位 樋口 裕一

高畠 康輔

太田 竜刀

辻 雅彦

(女子)

一〇〇MH 第五位 信田 真希

一〇〇M 第五位 小山内裕香

一〇〇M 第七位 坪川 沙織

○サッカー

函館市サッカー協会ベストイレブン

富樫 直人(三年)

函館協会選抜選手(中学生の部)

榊 浩幸(二年)

○バスケット

函館地区選抜選手(一年の部)

斉藤 千愛(二年)

— 文化行事 —

《小さな親切》実行章》

函館市立五稜中学校

《小・中学校の税に関する書道展》

特選 金子 美貴(三年)

《南北道学生書道展》

銀賞 田原 織恵(一年)

秀作 田中 望(二年)

《青少年読書感想文コンクール》

入選 谷 俊孝(一年)

《社会科自由研究作品展》

銅賞 越山 元貴(二年)

岡本 信之(二年)

《消費者生活ポスターコンクール》

優秀賞 早坂 麻衣(二年)

中村 牧子(一年)

入選 磯西 沙耶(二年)

高橋 尚子(二年)

田中 香織(二年)

古川 智幸(二年)

田原 織恵(一年)

桶本 隆明(二年)

森 あゆ美(二年)

《吹奏楽コンクール》

北海道南ブロック大会 C編成の部

金賞

※平成十年度

— 体育行事 —

《函館市中体連競技大会》

○陸上

一〇〇M 第一位 辻 雅彦(三年)

二〇〇M 第一位 辻 雅彦(三年)

走高跳 第五位 宗山 陽平(三年)

一五〇〇M

第五位 近藤 裕紀(二年)

一〇〇M 第三位 小山内裕香(二年)

《全道陸上》

○陸上

一〇〇M 第二位 辻 雅彦(三年)

二〇〇M 第四位 辻 雅彦(三年)

《全国陸上》

○陸上

一〇〇M 出場 辻 雅彦(三年)

二〇〇M 出場 辻 雅彦(三年)

《中体連総合大会》

○野球 対戸倉中 (3-6)

○サッカー 対湯川中 (1-3)

○バスケット男子

対桐花中 (41-28)

対潮見中 (28-37)

○バスケット女子 第三位

対西 中 (50-19)

対桔梗中 (24-22)

○卓球 (団体)

対附属中 (22-51)

(予選リーグ)

対戸倉中 (3-2)

対赤川中 (0-3)

対深堀中 (3-2)

対湯川中 (3-2)

対桐花中 (0-3)

○バレーボール

対北 中 (2-0)

対亀田中 (0-2)

○テニス (団体)

対宇賀の浦中 (3-0)

対本通中 (2-1)

対大川中 (0-3)

○柔道 (重量級)

優勝 宮川絵里奈

《全道柔道》

出場 宮川絵里奈

予選一勝一敗

— 文化行事 —

《吹奏楽コンクール》

北海道南ブロック大会 C編成の部

銀賞

《第八回函館市青少年芸術教育奨励事業》

文学部門 銅賞 志村 博紀(三年)

※平成十一年度

— 体 育 行 事 —

《函館市中体連競技大会》

○陸上

《角川文庫》読書感想文コンクール》

校内の部

最優秀賞

優秀賞

佳作

《第二十八回中学生作文コンクール》

入選



○野球

対戸倉中 (3-0)

対赤川中 (5-2)

対大川中 (1-5)

延長10回 第三位

○バスケット男子

対潮見中 (33-35)

○バスケット女子

対赤川中 (28-53)

対旭岡中 (2-3)

対港中 (3-1)

対大川中 (2-3)

○バレーボール

対凌雲中 (2-0)

対大川中 (1-2)

○柔道 一年78kg超級の部

第一位 成田 晃

○バドミントン

第三位 大友 裕子

○サッカー

対桔梗中 (0-3)

○テニス (団体)

対凌雲中 (0-3)

対湯川中 (2-1)

(個人戦)

○剣道

下村・杉本組 ベスト16

一〇〇M 出場 塩見 亮平 (三年)

《中体連総合大会》

○陸上

《全道陸上》

女子四〇〇M R

第七位

小野

片桐

高橋

小山内

第八位

上戸

藤井

横内

大友

佐藤恵美子 (二年)

藤井 詩織 (三年)

竹内ひとみ (一年)

女子四〇〇M JR

第六位

三種 A

熊谷 宇見 (二年)

大友 裕子 (二年)

吉田 怜未 (二年)

田中 克明 (二年)

青柳 沙知 (二年)

橋本 貴裕 (二年)

小澤瑠依子 (二年)

新渡 まり (二年)

砲丸投

第四位

塩見 亮平 (三年)

早坂 雅裕 (三年)

大内もも子 (二年)

中村 牧子 (三年)

齋藤 美絵 (二年)

高橋 弓子 (二年)

小山内裕香 (三年)

木村 香苗 (三年)

上戸

藤井

横内

大友

佐藤恵美子 (二年)

藤井 詩織 (三年)

竹内ひとみ (一年)

— 文化行事 —

《吹奏楽コンクール》

北海道南ブロック大会 C編成の部

銀賞

曲目「エルザの大聖堂への行列」

《平成十一年度函館の街をきれいにする

市民運動協議会ポスターコンクール》

協議会長賞 阿部真由子(二年)

函館市環境部町賞 高橋 弓子(二年)

函館市環境部長賞 熊谷 宇見(二年)

《佐藤恵美子さんの作品》

「かけがえない地球を大切に」美術作品

北海道大学水産学部「日本海洋学会公開

講演」のポスターに採用される。

《第三十七回中学生作文コンクール》

佳作 星賀さとみ(二年)

《第二十七回毎日新聞

中学生作文コンクール》

奨励賞 大野 真以(二年)

阿部真由子(二年)

佐藤 藍子(二年)

谷口 尚広(二年)

※平成十二年度

— 体育行事 —

《中体連陸上競技大会》

〔男子〕

二年一〇〇M

第四位 鎌田 群(二年)

共通二〇〇M

第八位 齊藤 恭介(三年)

三〇〇〇M

第八位 小川 隆一(二年)

〔女子〕

共通一〇〇M

第八位 高橋 弓子(三年)

八〇〇M 第七位 大内もも子(二年)

走幅跳 第八位 上戸 晶子(三年)

三種A 第四位 藤井絵理華(二年)

《中体連総合大会》

○野球

対銭亀沢中(24-0)

対北 中(1-2)

○バスケット男子

対本通中(21-43)

○バスケット女子

対白百合中(27-45)

○卓球(団体予選リーグ)

対赤川中(0-3)

対本通中(1-3)

高松 広大(三年)
竹内 亮人(三年)

○バレーボール

対光成中(0-2)

対西 中(0-2)

○バドミントン

(女子団体戦)

二回戦 対深堀中(1-2)

(女子個人戦)

第二位 大友 裕子(三年)

(全道大会出場)

○柔道 90kg超級

第二位 成田 晃(二年)

○サッカー

第二回戦 対光成中 前半(1-0)

後半(0-1)

延長前半(0-0)

延長後半(0-0)

PK(2-4)

○テニス(女子)

(団体予選リーグ)

対附属中(1-2)

対湯川中(2-1)

(決勝トーナメント)

対的場中(0-2)

団体戦 第三位

村田・赤石組 ベスト16

○剣道

(女子団体戦) 第二位

(個人戦) 第三位 播磨 真帆(二年)

ベスト8 田中 美子(三年)

ベスト8 久米 賢(二年)

○スキー競技大会

大回転 男子

第八位 鎌田 大輔(三年)

—文化行事—

《吹奏楽コンクール》

北海道南ブロック大会 C編成の部

銀賞

《平成十二年度函館の街をきれいにする

市民運動協議会ポスターコンクール》

協議会長賞 熊谷 宇見(三年)

優秀賞 大島 力(二年)

及川 朋美(二年)

増谷 美里(二年)

入選 笠原絵梨香(二年)

信田 真利(二年)

出村 春香(二年)

杉本 真衣(二年)

大塚 真衣(二年)

《第十回函館市青少年芸術教育奨励事業》

文学部門 銅賞 東 晃子(二年)

入選 大内ももこ(二年)

久末 梨奈(二年)

佳作 山田 愛(二年)

工藤 幹子(二年)

音楽部門 奨励賞 関口 百子(二年)

書部門 入選 熊谷 宇美(三年)

《角川文庫読書感想文コンクール》

校内の部 優秀賞 藤島 直哉(二年)

東 晃子(二年)

寺内 真(二年)

佳作 星賀さとみ(二年)

石川 洋平(二年)

阿部真由子(二年)

鶴見 清香(三年)

村上 佑奈(二年)

中西 理沙(二年)

《美術部門 平成十二年度

「ごみのポイ捨て防止標語入り」ポスター》

協議会長賞 熊谷 宇見(三年)

優秀賞 大島 夏美(二年)

及川 朋美(二年)

増谷 美里(二年)

入選 出村 春香(二年)

笠原絵梨香(二年)

信田 真利(二年)

杉本 真衣(二年)

大塚 真衣(二年)

《第二十八回中学生作文コンクール》

入賞 本間久美子(二年)

増谷 美里(二年)

佳作 瀬戸 智里(二年)

《第十二回函館市社会科自由研究作品展》

金賞 阿部真由子(二年)

銀賞 中村佳菜子(二年)

高橋 綾花(二年)

銅賞 丹羽 裕香(二年)

岡部 一也(二年)

吉塚 竜也(二年)

大内ももこ(二年)

東 晃子(二年)

筆村 美里(二年)



平成十三年
度の五稜中
学校

未来へむかつて

生徒会副会長 寺内 真



今年で、この五稜中学校も創立四十周年を迎えることになりました。四十年という長い年月の間には、先輩たちの数多くの足跡が残されています。それらは、先輩たちのたいへんな努力によって築き上げられたものだと思います。四十周年を迎えた今、僕たちは後輩として何をしなければならぬのでしょうか。

この四十年間に、学校生活の目標は変わることなく、「五稜三訓」という形で現在に受け継がれていますが、その中に「自主的判断みんなで協力」というものがあります。最近では、「何事も自主的に行動しよう」という考えが強くなっています。その要因は、生徒の積極性の欠如が上げられると思います。学校生活の中で、学年あるいは学級で仕事を分担することが何度もありますが、いざ分担しようとするとなかなか決まらないことがあります。それは生徒に少しでも楽な仕事をしたいという気持ちがあるからだと思います。楽を選んでいては、何も学ぶことができないと思います。自己中心的に考えるのではなく、仲間のことを思いやり、協力しながらお互いに高め合っていくことが充実した学校生活を創り上げていけるのではないのでしょうか。人に言われて行動するのではなく、自分ができることを自分で見つけていくことが大切だと思います。

これからは、後輩たちが新しい五稜中学校を創り上げていきます。「古きをたずねて新しきを知る。」このことを少し心の片隅に置いて、五稜中学校の伝統と歴史を大切にしながら発展させていってほしいと思います。それが、僕たち後輩の責務ではないでしょうか。

創立四十周年を迎えて

生徒会副会長 多田 莉彩



この五稜中学校が開校されてから、今年で四十年という月日が流れました。今日までの四十年の間には、輝かしい歴史と共に数多くの思い出が残されています。その歴史を作ったのは、この五稜中学校を卒業して行った先輩達です。そして、四十周年を迎えた今、私達は後輩としてそれを受け継ぎ、新しい歴史を築いていかなければなりません。そして、この歴史が途中でなくならないように、しっかりと後輩に伝えていかなければならないと思います。

この四十周年を大きな節目として、これまで以上にこの五稜中学校が充実・発展するためには生徒一人ひとりが物事について深く考え、挑戦する心を持ち、実践していかなければならないと思います。自分の意志を持って実行することは、大変な事だと思えます。しかし、それは人にとってとても大切なことです。自分から進んでやるのが、これからの私達の課題ではないのでしょうか。今の五稜中学校に必要なものは、挑戦する心です。この挑戦する心を持つ事が、この学校の発展する原動力になるのではないのでしょうか。

これまで行われてきたことを活かして、これからもこの五稜中学校をよりよい学校にしていきたいと思っています。

最後に、生徒会副会長として、この四十周年の時を迎えることができたことを、大変うれしく思います。



たぶん、お茶を飲んで、のんびり暮らしているだろう。

福田 啓希

ぼくの10年後は、漫画家か卓球選手になっているかもしれない。

竹本 和貴

ぼくの10年後はどうなっているかわかりません。これから考えます。

沖本 典之

10年後のぼくは、いい高校を出て、サラリーマンをやっているかな。

阿部 隆太

ぼくの10年後はたぶん大学で野球をやっていると思う。

森 雄紀

10年後のぼくは、きっと、普通に大学へ行ってなにかやっているだろう。

中澤 勝平

10年後の自分は、たぶん身長2メートルぐらいになっているだろう。

加賀谷 憲

10年後の自分はマーシャラーかパイロットになっていると思う。

新渡 喜規

1 年 A 組



10年後は、きっと自分の夢をかなえていると思う。

有岡 諒

社会人となりながらも大好きなスポーツにはげんでいると思う。

宇藤 卓哉

～10年後のぼく・わたし～

ぼくの10年後は大学で、死ぬほど勉強している時だと思います。

山崎 善紀

ぼくは10年後、とても忙しく勉強していると思う。

橋本 将樹

ぼくの10年後は、コンピューターの仕事をしたいと思います。

木田 拓麻

ぼくは、10年後たぶん大学生で、卒業間近と思います。

小川 洋平

ぼくは10年後、お父さんと同じ公務員になっていると思います。

吉塚 方規

10年後の自分は、いつも釣りをしている。家の中は釣り道具の山。

張磨 慧祐

10年後？ わかりません。今を大切にしています。

北村 享平

10年後は保健室の先生になるために、一生懸命頑張っていると思う。

中曽根知世

私の10年後は、今やりたい職業につき、一生懸命に頑張っていると思う。

笹谷 琴恵

10年後の私は、みんなの役に立っている看護婦になりたいと思います。

工藤麻起子

大学へ行っているか、バイトしながら就職活動していると思います。

伊藤 匡恵

OLかな？ フリーター？ でもデザイナーになりたい。

野呂奈都美

まだなりたい職業は決ってないけど、これから考えて決めた仕事ができれば。

高橋はるか

私は、10年後と同じだと思います。10年後の私が・ん・ば・れ！

桑村 紗苗

23歳で、バイトしていたりしていると思う。

井上布紗子

21世紀に生きる!!

10年後の私は、バイトをしながら、平凡に暮らしている。

平松 幸恵



阿 部 級

10年後の私はきっと、今とかわらず、元気に過ごしていると思う。

柳田 梨奈

10年後は子供のころの夢をかなえているのだろうか？

敦澤 亜未

10年後の私はきっと獣医になるために必死に勉強していると思います。

小林 春菜

10年後、自分に合った自分のやりたい仕事をしてみたいです。

小田香奈絵

私の夢は保育さんです。10年後は夢がかなっているとうれしいです。

行田 舞

10年後の私は、豊かで自然にかこまれて、自由に暮らしていると思います。

天満 正子

10年後の私は、22歳で美容師か介護士になっていれればいいです。

坂本 静香

私の10年後はバイトしながら作家になる勉強をしていると思う。

木佐 瑞紀

10年後のぼくは、
自分がやりたい
仕事についてい
る。

柳町 広明

僕はスキーが
好きなので、ス
キーをずっと続
けている。

棚池 義明

10年後は映画の
プログラマー。
この夢にむかっ
ていきたい。

鎌田 瑛浩

ぼくは、たぶん
ゲームデザイナー
になっている。

池田 佑三

10年後には考古
学者になってい
ると思います。

山本 隆太

10年後には東京
に行って人の役
に立つ仕事をす
る。

敦沢 尊

僕は野球が好き
だから、10年後
も野球をしている。

菅野 友貴

会社に勤めて、
社会人野球をし
てがんばっている。

石黒 敦洋

1 年 B 組



10年後の自分の
職業は、きっと
設計士になって
いる。

岩井 辰也

ぼくは、たぶん
野球選手になっ
ていると思う。

宇美 一輝

～10年後のぼく・わたし～

ぼくの10年後は、
仕事を見つけて
初給料をもらっ
ている。

山谷 拓己

ぼくは、なりた
い職業をみつけ
て、がんばって
いる。

野口 賢清

野球が好きなの
で、仕事をしな
がら草野球のチー
ムに入る。

齋藤 悠冴

サッカーを趣味
にして、スポー
ツドクターにな
りたい。

葛西 佑哉

僕はゴルフが好
きだから、プロ
になって外国へ
行く。

新堀 卓哉

10年後、ぼくは
どこかのバッテ
ィングセンターで
働いている。

林 勝昭

僕は野球が好き
なので、野球を
ずっと続けている。
る。

瀬戸 勇治

10年後には、き
っと自分ののぞむ
仕事をする。

加藤 秀一

家の店を継いで
いるか、コン
ピュータープロ
グラマーになる。

長谷川 唯

私の10年後は、
獣医になるため
に、勉強をして
いると思う。

鈴木友香里

10年後の私は保
母さんか看護婦
さんになっている。

佐々木由嘉

10年後の私は、
働いても働かな
くても家族の面
倒を見ていきた
い。

小笠原聖美

10年後の私はきつ
と、札幌の老犬
ホームで頑張っ
ている。

林 麻実

10年後の私は、
大学へ行って勉
強している。

滝下 恵

10年後、私は服
屋で正社員とし
てがんばっている。

佐藤 久美

10年後は自分の
好きな職業を見
つけて頑張っ
ている。

小川めぐみ

21世紀に生きる!!

10年後の自分は
製菓関係の仕事
をしている。

原 菜摘

有名な美容師か
メイクさん。自
分の店を持ちた
い。

山下朋奈美



七 宮 級

風景画家になっ
て美しい景色を
描いていると思
う。

吉田 亜弥

私の10年後は薬
剤師になるため
がんばっている。

竹村 歩美

10年後の私はきつ
と動物関係の仕
事に勤めている。

柴山 鈴香

世界中のいろい
ろな国に行って
FM番組に出演
したい。

菊池 朋子

私は音楽や歌が
好きなので、音
楽関係の仕事をし
たい。

吉村 奈々

私は美容師にな
りたいので、きつ
と美容師になっ
ている。

多田 紫乃

10年後の私は、
美容師になっ
ていると思います。

菅原 志保

10年後の私は自
分の店を持って
バリバリ働いて
いる。

櫻庭 美佳

10年後のぼくは、
今よりもっと人
に親切になって
いるだろう。

安澤 和希

ぼくは10年後、
ゲームクリエイ
ターとしてがん
ばっていると思
う。

早坂 治基

10年後の自分は、
科学者になりたい
ので、もっと
勉強しているこ
とと思う。

高崎 洋平

だれかと結婚し
てる…かも。と
りあえずしっか
りと生き続けた
い。

芦崎 彰良

ぼくは、大学を
卒業して一生懸
命働いていると
思います。

山内 優佑

ぼくは大学を卒
業して、大学院
に入っているこ
とを思います。

福井 悠太

10年後のぼくは、
警察官をめざし
て一生懸命勉強
してると思う。

田中 繁

10年後の僕は世
の中のためにな
るような人になっ
てると思う。

伊藤 亮介

1 年 C 組



ぼくの10年後は、
サッカーの選手
になっているこ
とだろう。

小野 浩弥

10年後僕は、函
館ハーフマラソ
ンに出て、最速
タイムで優勝す
るだろう。

北山 遼太

～10年後のぼく・わたし～

10年後のぼくは、
日本に必要な人
間になっている
だろう。

山本 智洋

たぶん大学を卒
業し、就職し、
人のために役立
っていることだろ
う。

本根 丈士

10年後のぼくは、
一人で暮らした
いので仕事に励
んでいると思い
ます。

中 良介

10年後の自分は、
プロのサッカー
選手になっている
！

榊 輝彦

ぼくは就職して、
世の中のために
役立つようがん
ばっていると思
います。

若狭 恭平

10年後のぼくは、
プロ野球選手を
めざしているだ
ろう。

水元 謙吾

10年後のぼくは、
大学生になって
いると思う。

萩野 勇樹

ぼくは、志望校
で勉強して、卒
業したら、弁護
士になっている
だろう。

佐々木恵太

私は大学を卒業し、プロのテニス選手になっていると思います。

長谷 舞

私の10年後は、東京で働いていると思います。

住山 明奈

私の10年後は、ホームヘルパーのような仕事をしていると思います。

川田 智美

私の10年後は、歌える女優になって、Jrのだれかと結婚している。

相田 夢希

私は、10年後大学を卒業して、警察官になりたいと思っています。

難波麻里絵

10年後の私は、美容関係の仕事をしていると思う。

高坂 彩乃

私は10年後、美容師になるために、勉強している！

菊谷 友美

私の10年後は、音楽の先生になっていると思う。

岩田 えり

21世紀に生きる!!

10年後の私は、小学校の教育実習生としてがんばっています！

林 沙織

10年後の私は、小学校の音楽の先生になっていると思う。

古館 隆子



桑 野 級

私の10年後は、運命の人とめぐりあって結婚していると思う。

吉田 藍

私の10年後は、超売れっ子のりぼん少女マンガ家になっている。

高橋 法子

10年後の私は、保母さんの仕事をしている。

栗田 朝美

22歳、私はダンサーになって、嵐のバックで踊って翔君と結婚する！

岡崎 佳純

10年後の私は、薬関係の仕事につくために小樽の大学に通っている。

吉田有公子

史上最強のマンガ家になって、地球制覇している。

千葉 綾美

私は、芸能人のスタイリストをやっている!!

佐々木梨衣

私は10年後、夢の美容師を目指して、がんばっていると思います。

柏 美沙

バイトをやって普通にくらしている。

中山 拓也

10年後の僕は田舎のコンビニで働きながら畑を作って暮らしている。

澤村 謙太

10年後の僕はコンピューター関係の仕事をすると思います。

木田 晶太

10年後はたぶん高校を卒業して働いていると思います。

赤石 徹郎

10年後の僕は朝野球のチームを作って野球をやっているだろう。

古館 隆一

10年後、僕は就職して平和に暮らしている。

生島 裕希

10年後の僕はパン屋をうけついで働いていると思います。

櫛引 亮

10年後の僕はセガが任天堂で働いているだろう。

伊藤 裕樹

2 年 A 組



10年後の僕は上京して一人暮らしをしている途中でしょう。

遠藤 直也

社会人になって働いている。

小山内 健

～10年後のぼく・わたし～

10年後の僕はたぶん元気で働いているだろう。

古村 侑也

忙しい仕事についてもくもくと働いている。

高橋 和也

10年後、たぶんふつうに働いていると思います。

金 準人

10年後の僕は畑で仕事をしているだろうと思います。

山内 直樹

10年後の僕は卓球をやっています。

高橋 裕司

ゴミ箱の中で生活している。

佐々木大輔



10年後の私は、
美容師になるた
め必死に努力し
ていると思いま
す。

木本由希奈

自分のやりたい
ように、やって
いる。

鎧谷友紀子

10年後の私は仕
事について毎日
楽しい生活を送
っている。

田中亜希子

10年後の私は、
仕事について頑
張っているとい
いな…。

佐藤 綾香

とにかく仕事を
してやりたいよ
うにしている。

内川 由貴

21世紀に生きる!!

自分のお店を作
り、おかし専門
のお店を開いて
いると思います。

宮本 梓那

10年後の私は将
来の夢の保母さ
んになっている
と思います。

村上 佑奈



山 口 級

10年後の自分は
きっと夢は叶え
てなくて、また
違う夢を作っ
ていると思う。

山村 明未

何かの仕事につ
いて一生懸命頑
張っているとい
いな…。

中村佳菜子

10年後の私は小
学校の先生か幼
稚園の先生にな
ってるかな。

志村 美紀

10年後の私は、
今はないけど自
分の好きな仕事
をしたいです。

大越 香織

10年後の私は看
護婦になるため
に看護学校で修
業中だと思いま
す。

渡辺 結衣

10年後の私は、
美容師になっ
ていると思う。

松本 優美

10年後の私は調
理師の免許を取
っていると思いま
す。

杉本 真衣

今の私が願う事
は、トリマーに
なっていてほし
いです。

笠原絵梨香

TV局の職員

花田 宗平

旅人のように色々な場所を旅してまわっているかもしれない。

鈴木 拓哉

多分、仕事を探していると思う。苦勞していると思う。

川村 一哉

多分、何かの仕事をしていると思う。

阿波加 慎

東京に行って幸せに暮らしている。

濱地 直宏

僕は十年後、TVカメラマンになっている。

高村 繁幸

十年後、バキュームカーで働いていると思う。

川村 裕二

フリーターをしている。

伊藤 優樹

2 年 B 組



僕の十年後はどこかで何かの仕事をしていると思う。

遠藤 貴洋

どこかのサッカーチームで頑張っている。

岡部 広大

～10年後のぼく・わたし～

十年後の僕は教育大に入って、先生になろうと思っています。

原田 上総

自動車整備工か、自動車工場で働いているかもしれない。

辻 隆寛

秋田で一人暮らし中、どこかの会社の新社員。

工藤 洋司

どこかの大学に入って、医学部の生徒になっていると思います。

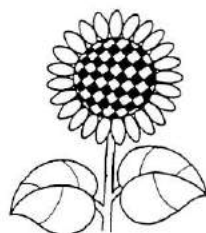
松葉 俊宏

十年後の自分は、フリーターで色々な所に行っている。

西村 陸朗

宮城県で阿蘇山のカルデラを見て、たくみこうじの歌を聞いている。

近藤 由規



私はきっと札幌の専門学校生か、大学生になっていると思います。

下村 美和

普通に暮らしていて、普通に働いている普通の人になっている。

大國 亜美

十年後の私は仕事について一人で生きてゆく。

濱道 萌

一応、就職はしていると思うけど、先のことはわかりません。

中西 理沙

十年後は多分学校の先生になっていると思います。

高橋 えみ

福祉関係の仕事についているか、薬剤師になっていると思う。

片桐 奈美

21世紀に生きる!!

わからないけど、自分の夢のような仕事をしていると思う。

門傳 彩夏



笹原 級

絶対に強い人間であってほしい。また、自由な人間でいたい。

吉村麻里衣

ごく普通に毎日を過ごしている。

渡邊亜祐美

多分、友達と美容師になっているハズ……。

能代 愛美

わからないけど、確実に社会人になっています。

田中 友未

多分、ピアノの先生になっていると思う。違ったら保母さんかな？

川村佳菜絵

東京に行ってイラスト関係の仕事をしたいです。

岡田 沙織

私は今、先生になりたいので、なれば十年後は先生になっている。

信田 真利

大学を卒業して、働いている。

出村 春香

多分、働いている。

篠崎 菜摘

十年後の自分は
大人になって機
械系の職業につ
いていると思う。

前田 隆太

十年後は、きっ
と高校を出て、
自分の仕事にが
んばっていると思
う。

塚谷 善介

十年後はたぶん
社会人になって
野球をしている。

今野 翔

大学を卒業して
仕事をさがして
一人暮らしをし
ているだろう。

赤石 卓也

十年後の自分は、
ふつうにあそん
で生きていると
思う。

前田 尚也

十年後のおれは
肉の店をついで
お肉のつしまを
がんばっている
ぜ!!

対馬 隆元

十年後ぼくは気
楽に絵をかいた
り何かを作った
りするのだ。

高杉 優

普通と大型特殊
免許を取って、
獣医の資格も取っ
ていてくれ~!!

石田 庸大

2 年 C 組



自分は一人暮ら
しをしてアルバ
イトをやってお
金をためるのが
夢。

上杉 健太

十年後の願いは、
どこの海でもき
れいで今より大
物の魚を釣りたい。

久保田大輔

～10年後のぼく・わたし～

十年後は、がん
ばって公務員に
なっていると思
います。

山田 拓郎

十年後、沖縄で
土地を買い取っ
ぱいの砂糖きび
を育てる。

楳木 僚祐

健康な自分でい
て、元気よく仕
事や色々なこと
をがんばりたい
です。

高橋 亨

十年後の自分は
検事の仕事をが
んばっていい生
活をしていると思
う。

吉田 幸博

漫画関係の仕事
についていれば
いいなと思いま
す。

西家 雅人

十年後の俺、K-
1でグランプリ
出場（キックボ
クシングで）

高橋 翔悟



私の十年後は、
東京で 服のショッ
プ店員になって
いたいと思います。

工藤美瑞季

手話や点字など
を覚えて、福祉
の仕事をしてい
たいと思う。

砂子田美希

私の十年後は、
動物関係の仕事
についていると
思います。

丹羽 裕香

十年後の私は、
23歳。明るく元
気で思いやりの
ある大人であり
たい。

佐藤あかり

未来の私は、自
分にあった仕事
を見つけて、の
んびり暮らして
いる。

和泉 愛美

21世紀に生きる!!

十年後の私は、
函館じゃないと
ころに住んでい
たい。

本郷 舞

十年後の私はた
ぶん公務員か世
界旅行に行つて
と思う。

山田奈里美



渡 辺 級

十年後の私はた
ぶん調理師になっ
てお店を開いて
いると思う。

横山 博美

高校を卒業して
専門学校に行っ
て美容師になり
たい。

藤田 梨菜

好きな事をやっ
て、楽しく、そ
して満足できる
人生であってほ
しい。

高橋 綾花

十年後の私は一
級建築士になる
夢に向かってが
んばっていると
思う。

大島 夏美

司法修習生とし
て検事や弁護士
の仕事について
学んでいる。

渡辺 清美

十年後の私は、
給料が安定して
いる所につき働
けたらいいな。

干場衣知乃

たぶん夢に向か
って働いているか
勉強しているか
と思います。

天満 幸保

十年後の私は、
たぶん看護学校
に通っているこ
う思う。

鎌田 遥

10年後のぼくは、
10年前の友達と
きっと酒でも飲
んでいるだろう。

宮田 諭

10年後ぼくは何
になっているだ
ろう。学芸員に
なっていること
を願う。

中江 啓太

10年後の自分は、
部長で社長を目
指してがんばる
熱血会社員だ。

高橋 和也

ぼくはミュージ
シャンになって、
路上やライブハ
ウスで歌ってい
る。

大島 力

10年後、ぼくは
自動車会社に勤
めている。

山谷 佳祐

10年後の自分は、
警察官になって
いると思う。

成田 晃

10年後は、りっ
ぱな大人になり
たい。

鶴喰 真仁

誰にも負けない
根性でプロ野球
選手をしている。

酒井 達矢

3 年 A 組



営業マンになっ
て、プロゴル
ファーになるた
めの練習中。

坂本 涼

10年後なんてわ
からないけど、
できればバスケ
と子供が好きな
パパ。

島田 京介

～10年後のぼく・わたし～

新しい電化製品
を開発中。人も
入れる冷蔵庫を
つくっている。

横山 和博

美容師になって、
そろそろ髪を切っ
ている頃です。

水野 盛太

ソフトプログラ
マーになって最
強の将棋ソフト
を作っているだ
ろう。

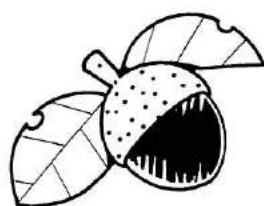
寺内 真

10年後は消防士
になって、日々
人を助けたい。

吉塚 竜也

ぼくは10年後車
をいじる仕事に
ついていたいで
す。

宮崎 剛



10年後の自分は
あまりつかれない
仕事をやって
いると思います。

高井麻里子

自分の夢を叶え
て、一人暮らしを
したい。

佐藤 藍子

イラスト関係の
仕事について、
毎日楽しく生き
てそう。

阿部あゆみ

10年後なんてわ
からない。でも、
その時その時を
大切に作る。

東 晃子

英語を話せて、
海外を飛び回っ
て、友達が世界
各地にいる独身
女性。

佐藤ありす

パタンナーになっ
て、かわいい服
をつくっていた
い。がんばる。

伊藤紗智子

21世紀に生きる!!

わかんないけど、
希望としては自
分の夢が叶って
いればいいと思
う。

横内 亜弥

10年後の私は、
父のあとを継い
でいるか、お母
さんになってい
る。

吉村多恵子



佐 藤 級

10年後は、自分
の目標としてい
た夢をつかんで
いると思います。

若杉 友里

10年後の私は、
公務員の仕事を
していて、ある
人と幸せに暮ら
している。

平松 朋恵

やりたいことを
何でもやってい
たい。

佐藤 仁美

ウサギを飼って、
自分の好きなこ
とをしながら楽
しく過ごしたい。

大塚 真衣

声優になれてた
らうれしいです
ね。

川辺 彩

自分の好きな事
を仕事にして毎
日楽しく暮らせ
ていればそれで
いい。

山田 愛

まだまだ学生。
大学院とかにい
て勉強していた
い。難しい本と
か。

関口 百子

マンガ家になっ
て、エニックス
で働いているか
もしれない。

酒井亜沙美

免許を多くもって
いて、専門職
業家になりたい。

中尾 祥一

今と変わらず、
平和に暮らして
いる。

佐々木祐貴

LOVE×2な
恋愛を経て、一
生自分と一緒に
いてくれる人と
入籍♥

工藤 充

「スカイ」のあ
とつぎ。

一戸 翔太

プラモデル専門
店で働く。

橋本 智

パン屋。

瀬戸 智里

田舎で一人で
ひっそり暮らし
ている。

小上 優

お仕事してる。
(笑うサラリー
マン)

岡部 一也

3 年 B 組



私(わたくし)
は、吉本興業に
入ろうと思って
おります。

小川 隆一

十年後の自分は、
車に乗って遊ん
でいると思う。

鎌田 群

～10年後のぼく・わたし～

自分の好きな事
をして、充実し
た日々を送る。

早坂 隆弘

公務員になって
安定した収入を
得ている。

谷口 尚広

機械類をあつか
う仕事をしてい
たい。

小林 達也

バイクで放浪の
旅に出る。

富原 翔平



10年後の自分は、
人の役にたって
いる人になって
いたいと思う。

高畠 美里

10年後の私は保
育園の先生になっ
て子ども達のめ
んどうを見たい。

笈口 麻衣

私は、英語の先
生になって五稜
中の生徒に英語
を教えたいです。

阿部真由子

10年後の私は多
分、自分がやり
たい仕事をして
いると思います。

張磨 真帆

札幌で1人暮ら
しをして、頑張っ
て好きな仕事を
していると思う。

工藤 幹子

将来の自分は、
仕事に追われて
頑張っていると
思う。

井田佳奈恵

21世紀に生きる!!

好きなことを気
ままにやりなが
ら、将来なった
職業の道を極め
てる。

本間久美子

10年後はたぶん、
あこがれの警察
官(婦警さん)
になるだろう。

増谷 美里



輪 島 級

輪島先生とは違
い、きっとピチ
ピチしてると思
うわっ。(笑)

松田なぎさ

今のまんま、フ
ツーに人間とし
て平凡に生活し
ている。

筆村 美里

私の10年後は家
事労働、つまり
お手伝いをして
いる。

坂田 悠

夢がかなうよう
に、実はヘラヘ
ラしながらひそ
かに頑張中♡

伊藤 正枝

自分がやりたい
仕事をできたら
いいと思います。

横山和貴子

わかんない。で
もこれからでき
る夢にむかって
がんばっている。

星賀さとみ

私の10年後は美
容師の専門学校
を卒業して、美
容師のたまご。

佐々木容子

10年後は、健康
で自分にあった
仕事をしていた
らそれでいい。

及川 朋美

10年後は、どんな環境でも楽しく感じられるようになりたい。

藤島 直哉

希望する高校に入り、努力して、自分の夢に少しでも近づきたい。

対馬 康太

どこかで、ふつうに働いて、ふつうに生活している、おじさん。

加賀谷 仁

21世紀に生きる!! 10年後の僕臨床心理師という仕事につく。

石川 洋平

24歳になって、仕事している。自分の家を買って住んでいたい。

船山 貴裕

友達が一万人以上になっているかも。

坪川 祐太

自分としてはのんびり、ゆっくり、普通に過ごしてればいいなあ。

久米 賢

10年後には、自立し、地に足をつけ、しっかり生きていたい。

近江 紘幸

3 年 C 組



10年後のぼくは沖縄にいたいと思う。

太田 博文

特別なことをしないで普通に仕事をさがして働いて生きている。

小野 佑輔

～10年後のぼく・わたし～

早くホームヘルパーの資格を取って、俺のじいちゃんを助けたい。

森 浩平

特別な事もなくマイホームで普通に仕事しながら普通に生きている。

福岡 正博

24か25才。十年後って言っても、なってみなきゃわかんない。

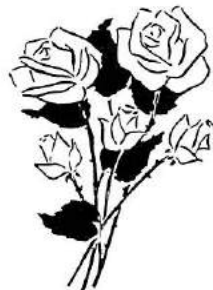
柴田 一洋

好きなサッカーを、続けていられればいいなと思っています。

小椋 裕喜

若いうちに大いに悩み、10年後には、まじめな生活をしていたい。

藤澤 真介



10年後には、かっ
こいい人と結こ
んして幸せに生
きているハズ。

久末 梨奈

一獲千金当てて、
夢あふれる職に
ついてる事を
祈る。

佐々木ひかる

普通にOLなど
しながらがんばっ
て働いている。

大内ももこ

10年後は25歳だ
から、そろそろ
結婚を考えてい
るだろう。

藤井絵理華

トマトを食べれ
るようになって
いると思う。

佐藤 望

10年後の私は、
真面目に仕事を
しているのだろ
うか。

大野 真以

21世紀に生きる!!

仕事をバリバリ
して遊んで暮ら
している。

松木 千衛

いい会社に入っ
て、仕事をがん
ばって、社長の
第1秘書になっ
てる。

水元 聖子



越 田 級

21世紀に生きる
10年後の私は、
仕事をしてるだ
ろう。

水戸部美来

10年後のわたし
は色白になって
いると思う。

堀見 綾子

10年後のわたし
は、独身で、きつ
と小説家になっ
ていると思う。

高橋 美早

田舎に行って、
毎日ボーっとし
ながら暮らして
いたい。

笠井奈津紀

10年後の私は、
社会人になって
いると思う。

山本 理恵

幸せ太りをして
いる。ポッチャ
リかわいいママ。
子供2人。

増野 幸子

普通に働いてい
て、いつもと変
わらない生活を送
っている。

多田 莉彩

10年後には、結
婚して自分の好
きなことをして
いると思う。

日下 朋美

平成十三年度 教 職 員

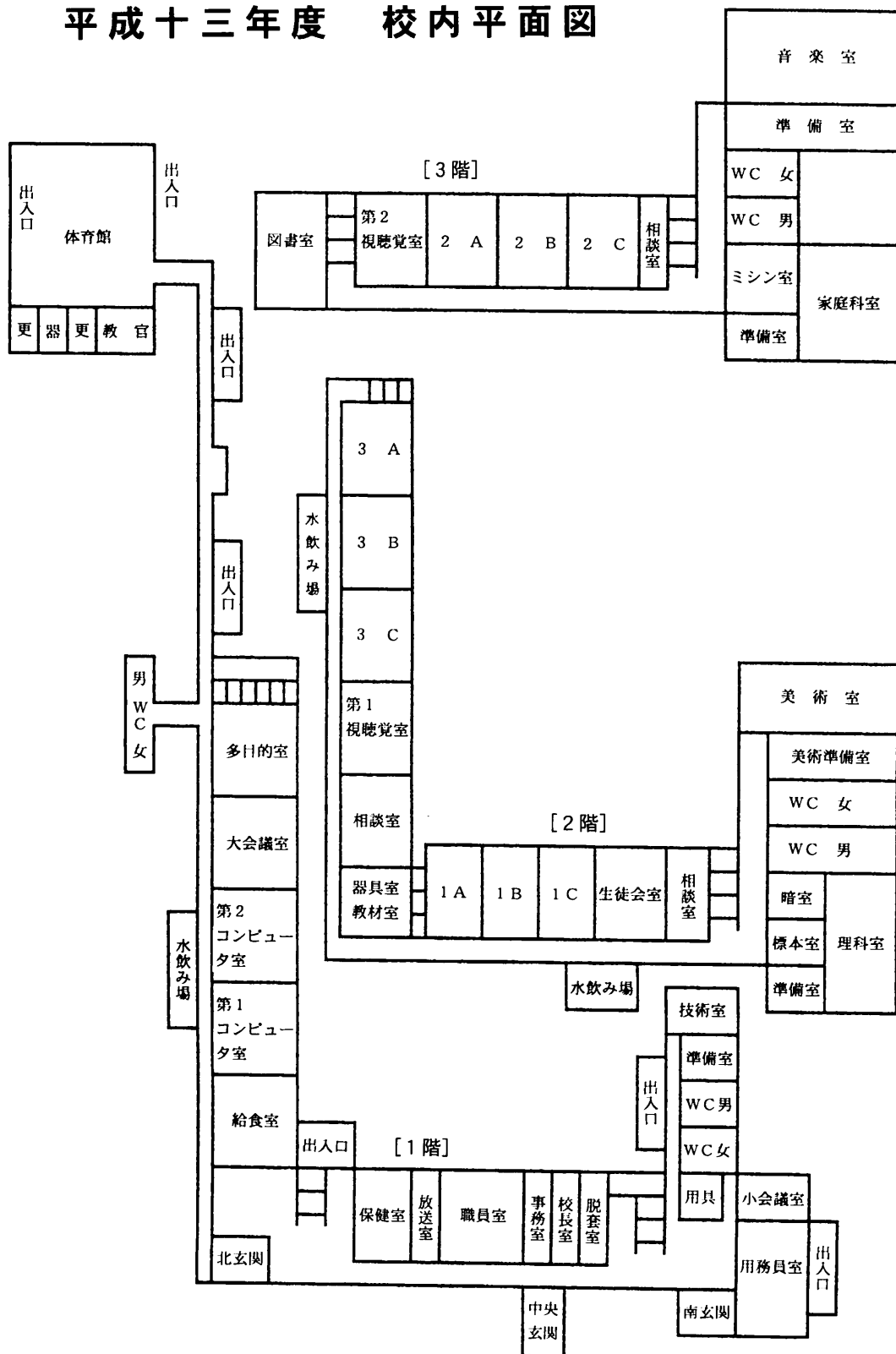


平成十三年度 学校の概要

学年団・学級担任

校長 佐 野 武 教頭 高 橋 登									
	A		B		C		副 担 任		
1 年 団	阿 部 真美	○	七 宮 義通	○	桑 野 健一	○	大 宅 剛	○	鶴 宗三郎
2 年 団	山 口 哲也	○	笹 原 五郎	×	渡 辺 淳	○	伊 勢 健	○	大 山 裕香
3 年 団	佐 藤 雅博	○	輪 島 陽子	○	越 田 喜忠	○	笹 谷 巖	○	菊 地 康幸
養 護	嘉 多 山 輝代								
時 間 講 師	川 尻 健二								
相 談 員	今 井 正夫								
事 務	相 原 郁夫	○	樫 山 栄子						
用 務	高 野 雄二	○	山 口 秀夫						
給 食	稲 垣 良子								
日 直	高 島 優								

平成十三年度 校内平面図



編 集 後 記

五稜中学校も今年度で四十周年を迎えることとなりました。また、今年は二十一世紀初年度にもあたります。そのためこの記念誌は、過去と未来をつなぐ一冊になるよう、過去十年の歴史と未来に生きる現在の生徒の二点に焦点を絞り、編集させていただきました。

どの世界にも「変わるもの」と「変わらないもの」があります。本校も情報化時代に伴いコンピュータを設置したり、生徒の心をより深く理解できるよう相談室を設置するなど、生徒が時代の急激な変化の中で生きる力を身につけられるよう、この十年でよりよい変化をしてきたことが、編集過程でわかりました。

しかし、本校の伝統となる部分は、変わることなく現在の生徒に受け継がれています。「五稜三訓」の実践や地域社会との結びつきを重んじる部分などがそれにあたると思われます。特に地域社会との関わりでは、亀田川清掃や校外清掃、函館野外劇の参加など、一つの形として現れています。

そして何よりも、これら諸活動が生徒、教師、保護者、地域の四位一体で行われることこそ本校の伝統であり、本校が誇りとすることと思われまふ。これまで本校を支えてくださった先輩諸生、保護者の皆様、地域の皆様には感謝の念に絶えまふ。

十年間という時の流れを一冊にまとめることは実に大変な作業でした。紙面の都合上割愛させていただいたことも多く、そのことが悔やまれてなりません。次回は五十周年という大きな節目にあたります。本誌が次回五十周年の礎となることを心より願っております。

最後になりましたが、お忙しい中、原稿執筆のお願いを快くお引き受け下さり、期日までにお届け下さった多くの方々に、編集部一同より厚く御礼申しあげまふ。



函館市立五稜中学校 40周年記念誌

発行日／平成13年10月10日

発行者／函館市立五稜中学校
40周年記念誌協賛会

印刷所／南久保内印刷所
函館市豊川町7番26号
☎(0138) 22-2678